

令和7年度

第1回美瑛町社会教育委員会議兼公民館運営審議会議兼生涯学習推進委員会議

令和7年4月24日（木）午後6時～  
町民センター 2階第3・第4会議室

- 1 開会
- 2 町民憲章朗唱
- 3 委嘱状交付
- 4 委員及び職員紹介
- 5 委員長あいさつ
- 6 議題
  - (1) 令和6年度 事業報告について
  - (2) 令和7年度 事業計画について
  - (3) 出合いふれあい祭りについて
  - (4) 第11次美瑛町社会教育中期計画の策定について
  - (5) その他
- 7 閉会

## 町 民 憲 章

わたくしたちは、美瑛町の町民であることに誇りと責任を感じ、この憲章をかかげてその実践につとめましょう。

- 1 心もからだもすこやかに、  
りっぱにつとめをはたしましょう。
- 1 互にむつみ話し合い、  
楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを守り助け合い、  
明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し文化をたかめ、  
豊かな郷土をつくりましょう。

美 瑛 町

# 令和6年度 事業報告〔生涯学習・文化事業〕

【家庭の教育機能の充実】

◎親と子の絆を深め、健やかな子育てを目指す学習活動の促進

※ 継…継続 新…新規

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
1	継	びえい出会いふれあい祭り	親子がふれあう機会の拡充と家庭教育の環境づくり	9月1日	町内学校の学習発表会、少年少女道外研修発表会、福祉等各種体験、協力団体ブース、バザー等	町民センター	一般	約2,200名	実行委員会主催(社会福祉協議会・健康と福祉のまちづくり会議共催)
2	継	親子クッキング	食育教育に関連して、料理を通して親子のきずなを深める。	11月9日	美瑛町産食材を使用したハンバーグシチュー、クッキーを料理	ラヴニール	親子	計31名	保護者12名 小学1年生～5年生19名

【少年の学習活動】 ◎自然とのふれあい、社会参加活動を拡充した体験活動の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
1	継	つくって遊ぼう	創作活動・体験活動を通して、科学への興味関心を育む。	7月13日	ゼンマイカー作りを実施	町民センター	小1～小6	30名	
2	継	こども陶芸教室	創作の喜びを通して、表現力の向上及び豊かな情操の育成を図る。	8月6日	独創的なオブジェ・コップ・皿等を制作	皆空窯	小1～中3	39名	こども陶芸展inびえいへ出品
3	継	少年少女道外研修	道外での社会体験を通じ児童生徒の将来に向けた意識の高揚を図る。	7月30日～8月2日	仁徳天皇陵古墳～大阪城～熊野古道～那智熊野大社～南紀熊野ジオパーク～アドベンチャーワールド等を見学	大阪、和歌山	小6・中2～3	30名	※入るづくり育成事業
4	継	夏 自然とふれあいの里	夏の遊びや団体生活を通して、自然・人との調和を図る。	8月5日～6日	サイクリング、火おこし体験、カレー作り、花火、カヌー、いかた体験、山の水族館見学等	ナイバル北見	小4～小6	19名	水辺のアクティビティ
5	継	冬 自然とふれあいの里	冬の特徴を生かした体験活動や、団体活動を通し、心と体の豊かな成長を促す。	12月26日～27日	ふるさと紹介、プラネタリウム、町内散策、室内レク、スノーシュー、積雪断面観測、結晶観察JAXA講話、等を体験	大雪青少年交流の家ほか	小4～小6	27名	大妻女子大学連携事業 ※東京都千代田区児童との交流 中学生ボランティア6名参加

【青年の学習活動】 ◎自己確立を図り、地域の活性化を目指す多様な青年活動の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
1	継	はたちの集い	成人を迎える方々を祝う式典と祝賀会	1月12日	対象者98名	町民センター	新成人	出席62名	式典後、実行委員会主催の「祝賀会」を実施 出席60名

【文化の振興】 ◎心豊かな社会を目指した文化の振興

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
1	継	丘のまち作品展	町民の趣味・創作活動の発表の場を提供し、意識と文化の高揚を図る。	3月1日～3日	絵画・版画・陶芸・手芸・習字など様々な作品を展示	町民センター	全町民	727作品	
2	継	ピアノと歌のコンサート	クラシック音楽を身近なものとする機会を提供する。	7月20日	ピアノソロ・ひまがたり・全体合唱	町民センター	全町民	140名	

# 令和6年度 事業報告〔生涯学習・文化事業〕

【成人の学習活動】

◎(高齢者)健康で生きがいのある社会参加の促進

※ 継…継続 新…新規

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	すずらん大学の開設	生きがいのある人生の確立と社会参加活動を推進する	4月11日 4月25日 5月18日 5月23日 6月27日 7月11日 7月25日 8月23日 9月1日 9月26日 9月28日 10/24 10/25 11月14日 11月28日 12月12日 1月23日 2月13日 2月20日 3月6日	入学式・始業式:新入生12名 写真で迎えるノスタルジック美瑛PARTIV 丘のまち缶トリー作戦 町民センター花壇整備ボランティア 町内施設見学:ピルケの森・忠別ダム・望岳台・藍染結の杜・デザインパーク・拓真館・美瑛ファーム・美宙 趣味と生きがい～マジンガ講演～ 夏のチャレンジDAY「美瑛の丘小麦巡り」 音楽鑑賞:TAKE7コンサート「たどり着けばこのメロディー」 旭川市博物館・林産試験場、ふらのチーズ工房・ふらの硝子、旭川地方裁判所・き花の杜ファクトリー 出会いふれあい祭りボランティア 美瑛東小学校3年児童との世代間交流事業 講座:金融犯罪被害にあわなないために 丘のまち缶トリー作戦 研修旅行【札幌・小樽方面】 講座:より良い睡眠のための健康管理 冬のチャレンジDAY 映画「記憶にございません」 選択演技:正月飾りづくり・陶芸教室・チーズづくり 落語鑑賞「落語家 桂 三段 独演会」 講座:シニア健康操体操 美瑛小学校3年児童との世代間交流事業 卒業式・修了式:卒業生6名、修了生12名	町民センター 町民センター 町内 町内 町民センター 町内 町民センター 町民センター 町民センター 町民センター 町内 町外 町民センター 町民センター 町民センター他 町民センター 町民センター 美瑛小学校 町民センター	高齢者	

# 令和6年度 事業報告〔生涯学習・文化事業〕

※ 継…継続 新…新規

〔成人の学習活動〕 ◎（一般）多様な学習機会の拡充や生きがいづくりの推進と地域活動への参加促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
		いきがいづくり講座	いきがいづくりの一環として初級講座を実施する。						
1	新	バンド楽器にふれてみよう 番外編(ドラム演奏の初めの一歩)	初心者向けのドラム講座	7月15日 3月8日	10歳～75歳が参加した実技講座	町民センター	一般		
2	継	スマートフォン講座	スマホの基本操作、アプリの取得方法やBeCoインのチャージ等を学ぶ。	9月26日	講師：KDDI	町民センター	一般		

## 【生涯学習の基盤整備 他】 ◎生涯学習社会に対応した広域的な社会教育の基盤整備

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備	考
1	継	町民憲章の普及・啓発	町民憲章を様々な機会に普及・啓発する	通年		町内	一般	分庁・行政区会館、町内会館等への町民憲章掲示、啓発及び各種事業等での朗唱等	
2	継	人材バンク	指導者の活用と新たな指導者の発掘	通年	個人団体含め37登録	町民センター	一般	広報等で登録依頼及び活用促進	
3	継	人づくり育成事業	町民の学習意欲を拡充し、広い視野と知識、技術の習得を支援	通年		道内外	一般		
4	継	青少年の悩み相談窓口の開設	青少年からの様々な悩み相談を受け、適切な助言と指導、関係機関との調整	通年		町民センター	青少年	道青少年補導センターと連携	
5	継	各種サークル支援事業	町広報紙等でのサークル活動の紹介、新規サークル発足の足がかりとなる情報提供など	通年	サークルの発足や会員の募集等、同じ趣味や教養活動に興味のある住民を繋ぎ合わせるような情報提供	町民センター	一般		
6	継	学習相談窓口の開設	年代層ごとの多様な学習相談窓口の開設	通年		町民センター	一般		
7	継	ポランテニア活動の促進事業	各事業・イベント等へのポランテニア活動の呼びかけ	通年		町民センター	一般		
8	継	団体支援事業	社会教育団体等の活動支援	通年		町民センター	団体	事業実施に係る相談受付等	
9	継	東京経済大学交流	農村地域を活用し、都市部の学生との交流による地域の活性化を図る	8月～ 9月	農業体験・福祉施設訪問・出会いふれあい祭り協力等	町内、東京経済大学他	学生・地域		
10	継	大妻女子大学連携事業	都市部の児童生徒を受け入れ、美瑛の子ども達との交流を通じ、地域の活性化を図る	12月26日 ～28日	教授・学生計9名が来町	町内	学生・地域	※冬・自然とふれあいの里	

# 令和6年度 事業報告〔社会教育団体関係〕

※ 継…継続 新…新規

【少年団育成連絡協議会】

No.区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1 継	少年団スポーツ交流会	スポーツを通じた少年団との大会	7月6日	8少年団105名	東小学校	少年団員	
2 継	下の句かるた交流会	下の句かるたを楽しむレクレーション	11月16日	3少年団29名	町民センター	少年団員	
3 新	お菓子づくり教室	クリスマスケーキデコレーション	12月15日	5少年団29名	ラテール	少年団員	
4 継	北海道かるた大会上川地区予選会派遣	主催：上川地区地域子ども会育成連絡協議会	12月1日	1少年団8名(小中それぞれ1チームずつ)	士別市民文化センター	少年団員	小学生チーム準優勝、中学生チーム3位
5 継	びえいっ子ミニ運動会	少年団での催し等による交流	1月25日	5少年団47名	スポーツセンター	少年団員	各少年団から運営ボランティアを募集

【青年会議】

No.区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1 継	交通安全キャンペーン	幼児及び小学生へ交通安全の啓発活動の実施	7月・9月	7月めりえコンテスト129点応募 9月標語コンテスト128点応募	町内	幼児・小学生	
2 継	子どもワークチャレンジ	アンケートを基に職業体験事業の実施	10月12日	職業体験 18名	坂田農園	児童生徒	
2 継	子どもワークチャレンジ	アンケートを基に職業体験事業の実施	11月23日	パティン体験 29名	ラテール	児童生徒	
3 継	子ども映画祭	長期休暇中の児童生徒に向けた地域貢献の実施	2月24日	ミニオンズ上映 75名参加	町民センター	児童生徒	
4 継	子どもワークチャレンジ	アンケートを基に職業体験事業の実施	3月8日	大工体験(最小催行人数を下回ったため中止)	町民センター他	児童生徒	
5 継	加盟団体意見交換会	各団体活動紹介及び交流会	3月19日	定員25名	町内	加盟団体会員	

【婦人団体連絡協議会】

No.区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1 継	婦人団体道内視察研修	防災やジオパークをテーマに道内先進地の視察	11月7日 ～8日	4団体17名	遠軽町他	一般・女性	
2 継	婦人団体研修会	町内の女性が、研修会等を通じて交流を深める	11月30日 2月18日 3月8日	音楽療法・ゼロカーボン座談会 22名 佐藤麻美講演会(美深報徳社主催) 65名 料理教室 23名	町民センター他	一般・女性	
3 継	各種町主催行事への協力	町が主催するイベントや行事等へのボランティア協力	通年	ヘルシーマラソン 25名 出会いふれあい祭り 17名 センチュリーライド 17名 宮様国際スキーマラソン 20名 ほか	丸山陸上競技場他	一般・女性	

# 令和6年度 事業報告〔社会教育団体関係〕

※ 継…継続 新…新規

## 【文化連盟】

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	文化祭芸術発表会・芸術展	加盟団体による発表会と作品展 上川管内中央部8町の文化連盟団体が芸術作品展と芸術発表会に参加する	10月30日 ～11月3日	作品展示:7団体 芸術発表:12団体	町民センター	一般	
2	継	管内中央部8町芸術祭		11月10日	各加盟団体23名	東川町	中央部 文連会員	

## 【青少年健全育成協議会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	合同研修会	芸術文化事業推進実行委員会との共催	12月7日	クリスマスレクチャアの開催 205名	町民センター	全町民	
2	継	青少年協幹事・少年補導員・防犯指導員合同会議	青少年に関する今日的課題についての協議・情報交流	通年(5回)	一部書面会議で実施	町民センター	幹事 少年補導員等	
3	継	「郷土の子」発行	児童生徒の健全育成や子育て等に関する各種提言や考え方などを紹介	年2回	6月、3月に発行	-	全町民	広報
4	継	登校時交通安全指導	交通事故防止、安全意識の高揚を旨とし交通マナーの指導を行なう	6～10月 (8回)	町内8地点の指導場所	町内	児童生徒等	
5	継	美瑛祭典夜間巡回指導	美瑛祭典開催時期に青少年の非行防止のための夜間巡回指導	7月24日 ～26日	露店街を中心に市街地を広く巡回指導 関係6団体参加	町内	青少年協等	
6	継	「丘のまち家庭の日」ポスターコンクール	道民家庭の日普及啓発のため、町内児童生徒を対象に実施	7月～1月	応募223点	町内	小中学生	丘のまち作品展で展示
7	継	美瑛町「少年の主張」発表大会	町内各中学校及び高校からの代表者による主張発表大会	1月18日	美瑛高校生を含め11名による発表	町民センター	中学生・高校生	
8	継	「子ども10番の家」の設置	万が一の場合の一時的な避難場所として設置し、子ども達の安全な環境づくりの一助とする	通年	226箇所	-	町内各施設 住宅等	

## 【芸術文化事業推進実行委員会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	新	陶芸家南正剛「土の聲を聴く」	南先生と町長の特別対談及び展示会	8月12日	来場者62名	町民センター	一般	美瑛町主催・芸術協力事業
2	新	京都大学交響楽団2024演奏旅行美瑛公演	京都大学交響楽団と美瑛中学校吹奏楽部合同演奏	8月22日	来場者226名	町民センター	一般	
3	継	クリスマスレクチャア2024 in Biei	郷土学館佐治天文台長と北ピアニストによるクリスマス講義	12月7日	来場者205名 町のYouTube公式チャンネルでライブ配信	町民センター	一般	
4	新	補光恵「ハーモニカクリスマスコンサート」	ハーモニカ奏者と白金太鼓の共演	12月14日	来場者201名	町民センター	一般	
5	新	落語家桂三段独演会	道内在住の上方落語協会会員による独演会	1月23日	来場者77名	町民センター	一般	

# 令和6年度 事業実績〔生涯スポーツ事業〕

※ 継…継続 新…新規

◎スポーツの楽しさを味わい、健康な心身をはぐくむ生涯スポーツの振興

No.	項目	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1		継	こどもかけっこ教室	小学校の運動会前に、走ることに對しての関心を持たせ、意識を高める(全2回)	5月18・25日	32名	陸上競技場	小学生	
2		継	ランニング教室	ヘルシーマラソンを控え、安全に走るためのルール・マナーや各個人の体と体力に合ったランニングの方法を学ぶ。(全2回)	5月19・26日	4名	陸上競技場	一般	
3		継	スキーで遊ぼう！教室	年長未就学児を対象とした教室。小学校入学前に、スキーの靴の履き方など親子でまなび、たのしみ。(全2回)	1月13・18日	9組18名	町民スキー場	年長未就学児	
4		継	こどもスキー教室	スキー技術の基礎基本を学び楽しく滑る(小学生向け)(全4回)	1月13・18・25・26日	71名	町民スキー場	小学生	
5	スポーツ教室	継	こどもスノーボード教室	スノーボードの基礎基本を学び楽しく滑る(全4回)	1月13・18・25・26日	8名	町民スキー場	小学生	
6		継	リズムストレッチエクササイズ	音楽に合わせて脂肪燃焼、カロリー消費を目的とし、運動不足解消のためのきつかけをつくる。(全6回)	1月9・16・30・2月6・20・27日	25名	スポーツセンター	一般	
7		継	健美体操教室	すずらん大学内で好評だった健美体操教室の続編。(全2回)	3月15・22日	16名	スポーツセンター	一般	
8		継	びえい元気キッズ講座	年長児童とその親を対象とした教室。あそびの中から、からだを動かす喜びを感じ、親子でコミュニケーションはかり楽しむ(全1回)	3月下旬	—	スポーツセンター	年長未就学児	
9		継	大人版チャレンジクラブNEO	運動不足解消のため、年間を通じて、様々な種類の軽スポーツを企画し、定期的にできるきつかけづくりを行う。	開催中止	—	スポーツセンター	一般	
10	スポーツ大会	継	全町ミニバレーボール大会	成人町民対象のミニバレー大会	開催中止	—	スポーツセンター	一般	
11	巡回スポーツ教室	継	出前スポーツ教室	スポーツを始めたいグループなどを中心に	通年		町内	全町民	
12	スポーツ相談	継	スポーツ相談窓口の開設	スポーツに関する様々な相談を受けつける	通年		町民センター他	全町民	
13	スポーツ情報発信	継	スポーツ情報の発信	スポーツ情報を広く広報に掲載し紹介	通年		町内	全町民	

# 令和6年度 事業実績〔スポーツ団体関係〕

※ 継…継続

【スポーツ協会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	びえいスポーツチャレンジクラブ	小学校低学年を対象に数多くのスポーツを体験してもらいスポーツ少年団に入るきっかけづくりを行う	10月～12月	10名	スポーツセンター	小学生低学年(1～3年生)	
2	継	各加盟団体事業	各加盟団体において事業を開催	通年			加盟11団体	
3	継	スポーツ協会表彰	美瑛町のスポーツ振興に寄与した団体・個人を表彰	4月	1名	町民センター	個人1名	3月に実施していたがスポーツ協会総会日に行うこととした
4	継	町民健康マラソン	健康づくり及び参加者同士の交流を図る	10月6日	81名	陸上競技場・美瑛川堤防コース	小学生～一般	共催：美瑛町公民館、美瑛町スポーツ教室運営委員会

※1 びえいスポーツチャレンジクラブ

- 10/19 第1回：体力測定 15名参加
- 11/2 第2回：サッカー 13名参加
- 11/10 第3回：野球 13名参加
- 11/17 第4回：柔道 13名参加
- 11/24 第5回：バドミントン 12名参加
- 12/1 第6回：バレーボール 14名参加
- 12/15 第7回：バスケットボール 15名参加
- 12/22 第8回：体力測定 15名参加

# 令和6年度 事業報告〔生涯学習・美瑛学推進事業〕

【美瑛学】様々なテーマの学びを通して地域への理解を深める。

【少年の学習活動】 ◎地域の特性を生かした事業を実施し、体験活動の推進と郷土への興味関心を高める

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	ジュニア美瑛学	様々なテーマの学びの中で、地域への理解を深め、郷土への興味関心を深める	5月19日 6月15日 7月27日 9月7日 10月6日 11月2日 12月8日 随時	美瑛探検 9名 美瑛川で自然観察 8名 太陽エネルギーを感じよう 8名 歴史巡り 9名 町内産業を知る(デザイントーク有) 6名 町内産業を知る(森林組合) 5名 わら細工 10名	郷土学館 美瑛川沿い 郷土学館 鶴ヶ森公園 旧五稜小 置杆牛 郷土学館	小学4-6年生	年間登録者数11名
2	継	ふるさと学習(出前講座含む)	主に児童を対象として、郷土の自然についての学習機会を創出する	随時		町内小学校	小学(5年)生	※関連:自然環境学習

【成人の学習活動】 ◎(一般)多様な学習テーマを提供し生きがいがいづくりの推進と地域人材の育成を図る

◎(高齢者)健康で生きがいがいのある社会参加の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	美瑛学講座	様々なテーマの学びを通して、興味関心のある学びを見つけ、生きがいがいづくりにつなげる	7月20日 9月29日 11月23日 2月8日	映画Pale blue Dot上映&佐治台長ミニレクチャー 25名 肉眼彗星がやってくる 4名 雪の写真で語り合うサロン 12名 映画大地の待上映セミナー 29名	郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館	中学生以上	※地域映像を愉しむサロンは全世代対象
2	継	天文台延長公開	天体望遠鏡を使い、季節の星空に触れ、科学と自然への興味関心を深める	毎月1回程度	9回中晴天実施は7回73名。悪天候時ミニ講座参加者4名。	郷土学館	全町民	※関連:自然環境学習 ※悪天時は天文ミニ講座を実施
3	継	美瑛学ボランティア	ジュニア美瑛学、天文台公開、取蔵資料の修繕など、個々の知識や技能を活かし、生きがいがいづくりにつなげる	通年	令和6年度7名登録	郷土学館等	全町民	

【文化の振興】 ◎心豊かな社会を目指した文化の振興

No.	区分	事業名	内容	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	郷土学館特別展・企画展	常設展示のほかに期間を限定した特別展・企画展を開催し、郷土理解や学習の推進を図る		4月11日～5月6日 6月19日～7月15日 7月24日～8月18日 8月28日～9月29日 10月2日～10月27日 11月1日～11月30日 2月11日	ヒグマ 412名 洗沢家と美瑛 462名 海のごみと農業～マイクログラス チェックってなに? 481名 シマエナガ 600名 彗星 374名 昔の写真で振り返る美瑛 324名 昔の遊び、生活用具体験、自然観察を実施 58名	郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館 郷土学館	一般 未就学児、小学生	※海のごみと農業は十勝岳ジオパーク推進協議会と共催 関連事業も実施 映画上映8/4:12名 ゴミ拾い8/3:11名 ※シマエナガは道北地区博物館等連絡協議会の巡回展として開催
2	継	美由まつり	郷土学館の認知度を高め、生涯学習へのきっかけづくりや人との交流の機会の創出を目指す						

【その他】 ◎郷土愛を醸成する教育・学習活動の推進

No.	区分	事業名	内容	内容	実施日	実績	会場	対象	備考
1	継	ジオパーク推進事業	十勝岳をはじめとした貴重な自然環境、地域の歴史・文化を広く発信し、教育・観光・産業振興・保全活動へ寄与するための活動を推進する。		通年	新規ガイド認定4名(累計22名) パネル展2回、フォトコンテスト1回、自由研究コンクール、他のジオ地域との交流	町内及び上富良野町内	全町民	※美瑛町と上富良野町の2町で構成する「十勝岳ジオパーク推進協議会」で運営する

# 令和7年度 事業計画〔生涯学習・文化事業〕

【家庭の教育機能の充実】

◎親と子の絆を深め、健やかな子育てを目指す学習活動の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備	考
1	継	びえい出会いふれあい祭り	親子がふれあう機会の拡充と家庭教育の環境づくり	8月31日	町民センター	一般	実行委員会主催(社会福祉協議会・健康と福祉のまちづくり委員会との共催)	
2	継	親子クッキング	食育教育に関連して、料理を通して親子のきずなを深める	10月中旬	町民センター他	親子	10月小学生対象	

【少年の学習活動】

◎自然とのふれあい、社会参加活動を拡充した体験活動の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備	考
1	継	こども陶芸教室	創作の喜びを通して、表現力の向上及び豊かな情操の育成を図る	8月5日	皆空窯	小1～中3	こども陶芸展inびえいへ出品	
2	継	少年少女道外研修	道外での社会体験を通じ児童生徒の将来に向けた意識の高揚を図る	7月29日～8月1日	九州方面	小6・中3	人づくり育成事業	
3	継	冬 自然とふれあいの里	冬の特徴を生かした体験活動や、団体活動を通し、心と体の豊かな成長を促す	12月26日～27日	大瀬青少年交流の家	小4～中3	大妻女子大学連携事業	

【青年の学習活動】

◎自己確立を図り、地域の活性化を目指す多様な青年活動の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備	考
1	継	はたちの集い	成人を迎える方々を初う式典と祝賀会	1月11日	町民センター	新成人	祝賀会は実行委員会が主催	

# 令和7年度 事業計画〔生涯学習・文化事業〕

【文化の振興】

◎心豊かな社会を目指した文化の振興

※ 継…継続 新…新規

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備	考
1	継	丘のまち作品展	町民の趣味・創作活動の発表の場を提供し、意識と文化の高揚を図る	2月28～3月2日	町民センター	全町民		
2	継	ピアノと歌のコンサート	クラシック音楽を身近なものとする機会を提供する	7月19日	町民センター	全町民		

## 【成人の学習活動】

◎(高齢者)健康で生きがいのある社会参加の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備	考
1	継	すずらん大学の開設	入学式・始業式:新入生9名	4月10日	町民センター	高齢者		
			講座:「美球町のまちづくりについて」、自治会総会	4月24日	町民センター			
			丘のまち缶トリ―作戦ボランティア・花壇整備ボランティア	5月中旬	町内			
			町内施設見学:ベルケの森・忠別ダム・防災シェルター	5月22日	町内			
			拓真館・監業館の社・美田・美環ファーム・デザイントーク	6月26日	町民センター			
			講座:「言語アートの世界」	7月24日	町民センター			
			音楽鑑賞: 「TAKE4コンサート～辿り着けばこのメロディーPARTIV～」	8月28日	町民センター			
			町外施設見学:サイバル・道立旭川美術館・男山酒造り資料館・き花の杜・アクトリ―・三浦綾子記念文学館・北鎮記	8月31日	町民センター			
			出会いふれあい祭りボランティア	9月25日	東小・町民センター			
			美球東小学校3年児童との世代間交流事業 講座「東日本大震災から学ぶ災害への備え」	9月予定	町内			
			丘のまち缶トリ―作戦ボランティア	10月22日～23日	帯広方面			
			研修旅行(帯広方面)	11月20日	町内			
			自治会主催行事「チャレンジDAY」	12月11日	町民センター			
			選択実技:正月飾り作り・陶芸教室・チ―ズ作り	1月22日	町民センター			
講座:「人生観」	2月12日	町民センター						
講座:「シニア健美操教室」	2月19日	町民センター						
美球小学校3年児童との世代間交流事業	3月5日	美球小・町民センター						
卒業式及び修了式		町民センター						

# 令和7年度 事業計画〔生涯学習・文化事業〕

※ 継…継続 新…新規

【成人の学習活動】

◎（一般）多様な学習機会の拡充や生きがいづくりの推進と地域活動への参加促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	いきがいきづくり講座	いきがいきづくりの一環として各種講座を実施。	通年	町民センター	一般	
		2講座を予定。創作系講座を中心に実施。初心者向けとして、新たな趣味のきっかけづくりの一環とする。					

## 【生涯学習の基盤整備 他】 ◎生涯学習社会に対応した広域的な社会教育の基盤整備

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	町民憲章の普及・啓発	町民憲章を様々な機会に普及・啓発する	通年	町内	一般	分館・行政区会館、町内会館等への町民憲章 掲示・啓発及び各種事業等での朗唱等
2	継	人材バンク	指導者の活用と新たな指導者の発掘	通年	町民センター	一般	広報等で登録依頼及び活用促進
3	継	人づくり育成事業	町民の学習意欲を拡充し、広い視野と知識、技術の習得を 支援	通年	道内外	一般	
4	継	青少年の悩み相談 窓口の開設	青少年からの様々な悩み相談を受け、適切な助言と指導、 関係機関との調整	通年	町民センター	青少年	道青少年補導センターと連携
5	継	各種サークル支援事業	町広報紙等でのサークル活動の紹介、新規サークル発足 の足がかりとなる情報提供など	通年	町民センター	一般	サークルの発足や会員の募集等、同 じ趣味や教養活動に興味のある住民 を繋ぎ合わせるような情報提供
6	継	学習相談窓口の開設	年代層ごとの多様な学習相談窓口の開設	通年	町民センター	一般	
7	継	ボランティア活動 の促進事業	各事業・イベント等へのボランティア活動の呼びかけ	通年	町民センター	一般	
8	継	団体支援事業	社会教育団体等の活動支援	通年	町民センター	団体	事業実施に係る相談受付等
9	継	東京経済大学交流	農村地域を活用し、都市部の学生との交流による地域の活 性化を図る	8月～10月	町内・東京経済 大学他	学生・地域	
10	継	大妻女子大学連携事業	都市部の児童生徒を受け入れ、美瑛の子ども達との交流を 通し、地域の活性化を図る	12月25日～26日	町内	学生・地域	

# 令和7年度 事業計画〔社会教育団体関係〕

※ 継…継続 新…新規

## 【少年団育成連絡協議会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	少年団スポーツ交流会	スポーツを通じた少年団との大会	7月5日	丸山陸上競技場	少年団員	
2	継	かるた交流会	下の句かるたを楽しむレクレーション	11月15日	町民センター	少年団員	上川地区予選会へ派遣
3	継	びえいっ子ミニ運動会	少年団での催し等による交流	1月24日	町民センター	少年団員	各少年団から運営ボランティアを募集

## 【青年会議】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	交通安全キャンペーン	幼児及び小学生へ交通安全の啓発活動の実施	7月・9月	町内	幼児・小学生	7月は幼児へのぬり絵コンテスト、9月は小学生の標語コンテストを実施
2	継	まちづくり活動	まちづくりをテーマとしたボランティアの実施	通年	町内	加盟団体会員	
3	継	こども映画祭	児童生徒に向けた地域貢献の実施	通年	町民センター	児童生徒	
4	継	会員交流会	加盟団体相互の親睦と交流を図る	通年	町内	加盟団体会員	
5	継	こどもワークチャレンジ	町内小学生にアンケートを実施し、いくつかの職業体験事業を実施	通年	町内	小学生	

## 【婦人団体連絡協議会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	婦人団体道内視察研修	防災等の視点で、道内の先進地を視察する	11月6日～7日	道内	一般・女性	帯広方面予定
2	継	婦人団体研修会	町内の女性が、研修会等を通じて交流を深める	通年	町内	一般・女性	
3	継	各種町主催行事への協力	主に町が主催するイベントや行事へのボランティア協力	通年	町内	一般・女性	

# 令和7年度 事業計画〔社会教育団体関係〕

## 【文化連盟】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	文化祭芸術発表会・芸術展	加盟団体による発表会と作品展	10月30～ 11月3日	町民センター	一般	
2	継	管内中央部8町芸術祭	上川管内中央部8町の文化連盟団体が芸術作品展示と芸術発表に参加する	11月中旬	管内中央部	中央部 文連会員	

## 【青少年健全育成協議会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	合同研修会	びえい芸術文化事業推進実行委員会と共催	12月6日	町民センター	全町民	
2	継	青少年協幹事・少年補導員・防犯指導員合同会議	青少年に関する今日的課題についての協議・情報交流	通年(5回)	町民センター	幹事 少年補導員等	
3	継	「郷土の子」発行	児童生徒の健全育成や子育て等に関する各種提言や考え方などを紹介	年2回		全町民	町広報紙面及び折込
4	継	登校時交通安全指導	交通事故防止、安全意識の高揚を指し交通マナーの指導を行なう	6～10月 (8回)	町内	児童生徒等	
5	継	美瑛祭典夜間巡回指導	美瑛祭典開催時期に青少年の非行防止のための夜間巡回指導	7月24～26日	町内	青少年協等	
6	継	「丘のまち家庭の日」ポストターコークール	道民家庭の日普及啓発のため、町内児童生徒を対象に実施	7月～1月	町内	小中学生	
7	継	美瑛町「少年の主張」発表大会	町内各中学校及び高校からの代表者による主張発表大会	1月17日	町民センター	中学生・高校生	
8	継	「子ども110番の家」の設置	万一の場合の一時的な避難場所として設置し、子ども達の安全な環境づくりの一助とする	通年		町内各施設 住宅等	

## 【芸術文化事業推進実行委員会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	継	芸術文化事業	未就学児向け人形劇、落語やクリスマスレクチュア(12月6日)等、鑑賞機会の企画・運営	通年	町民センター	一般	

## 【美瑛つながるプロジェクト実行委員会】

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	備考
1	新	星のかけらプロジェクト事業	「星」をテーマにした町民参加型アートプロジェクトとして、朗読音楽劇の制作・上演や各種交流イベント等に取組み	4月～2月	町内	一般	※地域づくり総合交付金等活用予定

# 町内生涯学習関連施設

No.	施設区分	施設名	住所	管理方法	開設期間	備考	
1	社会教育施設	美瑛町町民センター	寿町2丁目3番13号	夜間・土日・祝祭日、管理人配置	通年	休館日 12月31日～1月5日	
2		図書館	幸町1丁目1番10号	図書館	通年	休館日 月曜日・祝日・12月31日～1月5日	
3		郷土学館	栄町4丁目1番1号	文化スポーツ課	通年	休館日 火曜日・12月31日～1月5日	
4		美瑛町地域人材育成研修交流センター	旭北星	文化スポーツ課	通年		
5		スポーツセンター	丸山1丁目	文化スポーツ課・管理委託	通年	休館日 12月31日～1月5日	
6		わいわいプール	丸山2丁目	株式会社社スコーレ	通年	休館日 12月31日～1月5日 定休日 毎週火曜日	
7		美瑛町弓道場	丸山1丁目	弓道連盟	通年	休館日 12月31日～1月5日	
8		ふれあい運動広場	原野3線	文化スポーツ課	5月～10月	子ニスコート・ゲートボール場	
9		丸山陸上競技場	丸山1丁目	文化スポーツ課	5月～10月		
10		相撲場	〃	文化スポーツ課	5月～10月		
11	スポーツ施設	町民スキージャンプ場	字大村村山	文化スポーツ課・従業員配置	12月～3月		
12		丸山公園歩ススキコース	丸山1丁目	文化スポーツ課	12月～3月		
13		美瑛川堤防歩ススキコース	西町4丁目緑橋	文化スポーツ課	12月～3月		
14		丸山球場	丸山2丁目	軟式野球連盟・整備管理委託	5月～10月		
15		美瑛町滑空場	字美沢川向	航空協会	5月～10月		
16		美瑛町白金クレークゴルフ場	字美沢川向	北海道猟友会旭川支部美瑛部会	5月～10月		
17		丸山橋パークゴルフ場	字水上	文化スポーツ課	4月～10月	定休日 毎週水曜日	
18		緑橋パークゴルフ場	字みどり	文化スポーツ課	5月～10月	定休日 毎週月曜日	
19		学校開放事業校	美瑛小、美瑛東小、美瑛中体育館		通年		
20		生涯学習関連施設	白金キャンプ場	字白金	商工観光交流課	6月～10月	
21			自然の村キャンプ場	字白金	商工観光交流課	休止中	
22			国立大雪青少年交流の家	字白金	国立大雪青少年交流の家	4月～9月	10月以降については休館期間あり

# 令和7年度 事業計画〔生涯スポーツ事業〕

※ 継…継続 新…新規

◎スポーツの楽しさを味わい、健康な心身をはぐくむ生涯スポーツの振興 ※各講座の回数は予定です。

No.	項目	区分	事業名	内容	実施予定日	会場	対象
1		継	こどもかけっこ教室	小学校の運動会前に、走ることに対しての関心を持たせ、意識を高める(全2回)	5月中旬	陸上競技場	小学生
2		新	スケートボード教室(仮)	スポーツセンター駐車場に新設すつセクションを利用した、初心者向けの教室(全4回)	10月中旬	スポーツセンター駐車場内	未定
3		継	スキーで遊ぼう！教室	年長未就学児を対象とした教室。小学校入学前に、スキーの靴の履き方など親子でまなび、たのしむ。(全2回)	1月中旬	町民スキー場	年長未就学児
4	各種スポーツ教室	継	こどもスキー教室	スキーの基礎基本を学び楽しく滑る(全4回)	1月中旬	町民スキー場	小学生
5		継	こどもスノーボード教室	スノーボードの基礎基本を学び楽しく滑る(全4回)	1月中旬	町民スキー場	小学生
6		継	リズムストレッチエクササイズ	音楽に合わせて脂肪燃焼、カロリー消費を目的とし、運動不足解消のためのきつかけをつくる。(全6回)	1月～2月	スポーツセンター	一般
7		継	健美体操教室	すずらん大学内で好評だった健美体操教室の続編。(全2回)	3月	スポーツセンター	一般
8		継	びびい元氣キッズ講座	年長児童とその親を対象とした教室。あそびの中から、からだを動かす喜びを感じ、親子でコミュニケーションはかり楽しむ(全1回)	3月	スポーツセンター	年長未就学児
9	スポーツ大会	継	全町ミニバレーボール大会	成人町民対象のミニバレー大会	1月下旬	スポーツセンター	一般
10	巡回スポーツ教室	継	出前スポーツ教室	スポーツを始めたいグループなどを中心に	通年	町内	全町民
11	スポーツ相談	継	スポーツ相談窓口の開設	スポーツに関する様々な相談を受けつける	通年	町民センター他	全町民
12	スポーツ情報発信	継	スポーツ情報の発信	スポーツ情報を広く広報に掲載し紹介	通年	町内	全町民

# 令和7年度 事業計画〔スポーツ団体関係〕

※ 継…継続

【スポーツ協会】

No.	区分	事業名	内容	実施予定日	会場	対象	備考
1	継	びえいスポーツチャレンジクラブ	小学校低学年を対象に数多くのスポーツを体験してもらいスポーツ少年団に入るきっかけづくりを行う	通年	スポーツセンター等	小学生低学年(1~3年生)	
2	継	各加盟団体事業	各加盟団体において事業を開催	通年		加盟10団体	
3	継	スポーツ協会表彰	美珠町のスポーツ振興に寄与した団体・個人を表彰	4月	町民センター		
4	継	町民健康マラソン	健康づくり及び参加者同士の交流を図る	10月5日 予定	陸上競技場・美珠川堤防コース	小学生以上	主催:スポーツ協会 共催:美珠町公民館、美珠町入スポーツ教室 運営委員会

# 令和7年度 事業計画〔生涯学習・美瑛学推進事業〕

※ 継…継続 新…新規

【美瑛学】様々なテーマの学びを通して地域への理解を深める。

【少年の学習活動】 ◎地域の特性を生かした事業を実施し、体験活動の推進と郷土への興味関心を高める

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	協働活動推進事業	備考
1	継	ジュニア美瑛学	様々なテーマの学びの中で、地域への理解を深め、郷土への興味関心を深める ※関連：天体・自然・郷土	5月11日 6月15日 7月12日 8月13日 9月13日 10月18日 10月25日 11月30日	郷土学館、 町内各所	小学生(4-6年)		開講式、郷土学館見学、畑づくり 自然観察(美瑛川沿い) 丸山通まち歩き 流星群観察 太陽観察 収穫、星空のまち全国大会発表準備 星空のまち全国大会発表 クラフト体験、閉講式
2	継	ふるさと学習(出前講座含む)	主に児童を対象として、郷土の自然についての学習機会を創出する ※関連：自然環境学習	随時	町内小学校	小学生(5年)		

【成人の学習活動】 ◎（一般）多様な学習テーマを提供し生きがいがづくりの推進と地域人材の育成を図る

◎（高齢者）健康で生きがいがいのある社会参加の促進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	協働活動推進事業	備考
1	継	美瑛学講座	様々なテーマの学びを通して、興味関心のある学びを見つけ、生きがいがいづくりにつなげる。 ※関連：天体・自然・郷土等	6月15日 8月 11月15日 1月17日	郷土学館	全町民(高校生以上想定)		美瑛天文台佐治名誉天文台長の講座 生物多様性に関する講座 昔の写真で語り合うサロン オーローラに関する講演
2	継	天文台延長公開	天体望遠鏡を使い、季節の星空に触れ、科学と自然への興味関心を深める ※関連：自然環境学習	8回予定	郷土学館	全町民		悪天候時は屋内講座(プラネタリウム等を活用)
3	継	郷土学館ボランティア	ジュニア美瑛学、天文台公開、収蔵資料の修理など、個々の知識や技能を活かし、生きがいがいづくりにつなげる	通年	郷土学館等	全町民		

【文化の振興】 ◎心豊かな社会を目指す文化の振興

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	協働活動推進事業	備考
1	継	郷土学館企画展	常設展示のほかに期間を限定した特別展・企画展を開催し、郷土理解や学習の推進を図る	6月 7月23日～8月17日 11月1日～11月30日 1月	郷土学館	一般		エノリス写真展 生物多様性 昔の写真で振り返る美瑛 オーローラ写真展
2	継	美田まつり	郷土学館の認知度を高め、生涯学習へのきっかけづくりや人との交流の機会創出を目指す	2月21日	郷土学館	一般		昔の道具体験、昔の遊び体験など

【その他】 ◎郷土愛を醸成する教育・学習活動の推進

No.	区分	事業名	内容	実施日	会場	対象	協働活動推進事業	備考
1	継	ジオパーク推進事業	十勝岳をはじめとした貴重な自然環境、地域の歴史・文化を広く発信し、教育・観光・産業振興・保全活動へ寄与するための活動を推進する。	通年	町内・ 上富良野町	全町民		※美瑛町と上富良野町の2町で構成する「十勝 岳ジオパーク推進協議会」で運営する ※全国大会及び再認定審査を予定

令和7年度 文化スポーツ課・公民館・郷土学館・ジオ 年間行事予定表 (R7.4.18現在)

赤 … 文化振興  
青 … スポーツ振興

ピ … スポーツ交流  
茶 … 郷土学館  
緑 … ジオパーク

※予定ですので、行事開催日は変更になる場合があります  
※毎月第3月曜日は「道民家庭の日」です

日	4月	5月	6月	7月	日	8月	9月	10月	11月	日	12月	1月	2月	3月				
1	火 教職員辞令交付式	木 ふれあい運動広場オープン	日 町内小学校運動会	火	1 金	月	水	土	チャレンジクラブ③ 天文台延長公開	1 月	木 元日・休館日	日	日	日				
2	水	金	月	水	2 土	火	木	日	天文台延長公開	2 火	金 休館日	月	月	月				
3	木	土 憲法記念日	火	木	3 日	水	金	月	文化の日 町民文化祭(文連)	3 水	土 休館日	火	火	火				
4	金 青年会議総会	日 みどりの日 天文台延長公開	水	金 北海道博物館大会 札幌市(5日まで)	4 月	木	土	火		4 木	日 休館日	水	イベント事務局 町民 C→スポセンへ	水 JAゲートボール大会				
5	土	月 こどもの日 天文台延長公開	木	土	5 火	火	金	日	親子クッキング 町民健康マラソン	5 金	月 休館日	木		木 ずずらん大学卒業式・修了式				
6	日	火 振替休日	金	日	6 水	土	月	木		6 土	クリスマスレクチュア	火 仕事始め	金 リズムストレッチエク ササイズ④	金				
7	月	水	土	月	7 木	日	火	金	婦連協研修会 帯広(8日まで)	7 日	水	土	土	土				
8	火	木	日	火	8 金	道外研修事後研修 天文台延長公開	月	水	チャレンジクラブ④	8 月	木	日	日	日				
9	水	金	月	水	9 土	天文台延長公開	火	木		9 火	金	リズムストレッチエク ササイズ①	月	月				
10	木 ずずらん大学入学式・始業式	土	火	木	10 日	水	金	月	スケートボード教室④	10 水	土	火	火	火				
11	金	日 ジュニア美瑛学①	水	上川管内スポーツ推進委員協議会総会	11 月	山の日	木	土		11 木	ずずらん大学(選択 実技)	日	水	建国記念の日 美瑛学講座 「美瑛の歴史講座」	水			
12	土	月	木	少年団スポーツ交流会 ジュニア美瑛学③	12 火	金	日	水		12 金	月	木	ずずらん大学(シニア 健美操教室)	木				
13	日	火	金	日	13 水	ジュニア美瑛学④	土	ジュニア美瑛学⑤	月	スポーツの日	木	13 土	チャレンジクラブ⑧	火	金	金		
14	月	水	土	月	14 木	日	火	金	ずずらん大学(健康 管理に関する講座)	14 日	水	土	宮様SM開会式	土				
15	火	木	日	戦没者追悼式 ジュニア美瑛学② 美瑛学講座	15 金	ゲートボール役員会	月	敬老の日 市街地区敬老会	土	チャレンジクラブ⑤ 美瑛学講座 「美の郷土文化」	15 月	木	日	第49回宮様SM	日			
16	水	金	月	水	16 土	火	木	ゲートボール役員会	日	星のかけらプロジェクト 作品づくり	16 火	金	リズムストレッチエク ササイズ②	月	月			
17	木	土	火	町内中学校体育祭 こどもかけっこ教室①	17 日	水	金	月	ゲートボール役員会	17 水	土	少年の主権発表大会 ③こどもスキー教室 こどもスノーボード教室	火	火	火			
18	金	日	水	イベント事務局 スポセンへ 町民Cへ ジオパークツアー②	18 月	木	土	チャレンジクラブ① ジュニア美瑛学⑥	火	18 木	ゲートボール大会	日	水	ゲートボール役員会	水			
19	土	月	木	星のかけらプロジェクト 説明会 丸山橋PGオープン	19 火	金	土	ピアノと歌のコンサート	19 火	金	日	月	木	ササイズ⑤ ずずらん大学(美瑛 小交流)	木			
20	日	火	金	ゲートボール役員会	20 水	道外研修事後研修	土	月	ずずらん大学自治会 行事(チャレンジ DAY)	20 土	火	金	金	春分の日				
21	月	水	土	月	21 木	日	火	金	サイクリング(予定)	21 日	水	土	天文台延長公開(惑 星観察会)・美宙まつり	土				
22	火	木	日	火	22 金	ゲートボール大会	月	水	ずずらん大学研修旅行 (22～23日)	22 月	木	ずずらん大学(人生 観講座)	日	日				
23	水	金	月	水	23 土	どかんと農業祭り	火	秋分の日	木	星のかけらプロジェクト 稽古	日	火	星のかけらプロジェクト 稽古	月	天皇誕生日	月	ゲートボール役員会	
24	木	土	火	木	24 日	星のかけらプロジェクト 朗読会	水	金	星のかけらプロジェクト トリハーサル	月	振替休日	24 水	土	ひまわりフェスティバル 天文台延長公開(惑 星観察会)	火	火		
25	金	日	水	ゲートボール大会	25 月	木	ずずらん大学(東小 交流)	土	チャレンジクラブ② ジュニア美瑛学⑦ 星空の街・青空の街全国大会	火	25 木	星のかけらプロジェクト トリハーサル	日	全町ミニバレー大会	水	イベント事務局 スポ センへ町民Cへ	水	
26	土	月	木	ずずらん大学(言語 アートの世界)	26 火	金	土	星のかけらプロジェクト 合宿	日	星空の街・青空の街 全国大会	水	冬季ゲートボール大会	26 金	冬・自然とふれあいの 里(大妻女子大連携 事業)26日～27日	月	木	木	
27	日	火	金	日	27 水	星のかけらプロジェクト 合宿	土	ジオパーク全国大会 十勝岳大会	月	スケートボード教室①	木	27 土	星のかけらプロジェクト 音楽朗読劇	火	「丘のまち家庭の日」絵画・ポ スター作品審査	金	リズムストレッチエク ササイズ⑥	金
28	月	水	土	星のかけらプロジェクト ワークショップ	28 木	ずずらん大学(旭川 施設見学)	日	ジオパーク全国大会 十勝岳大会	火	28 金	水	28 日	水	土	丘のまち作品展 (～2日)	土		
29	火	木	日	火	29 金	少年少女道外研修 (7月29日～8月1日)	月	水	スケートボード教室②	29 土	チャレンジクラブ⑦	29 月	木		日			
30	水	金	月	水	30 土	出会いふれあい祭り準備	火	木	町民文化祭(展示) 10月30日～11月3日	30 日	ジュニア美瑛学⑧	30 火	仕事納め	金	リズムストレッチエク ササイズ③	月		
31		土		木	31 日	出会いふれあい祭り	金			31 水	休館日	土			火			
備考		●こどもかけっこ教室	●サイクルスタンプラリー (6～9月) ●青年会議交通安全キャン ペーン ●青少年協校時交通安全 指導(10月まで) ●町長杯ゲートボール大会 ●郷土学館企画展「エゾリス」	●郷土学館企画展「生物 多様性」(7月23日～8月17 日)	●会長杯ゲートボール大会 ●青年会議交通安全キャン ペーン	●丘のまちふれあい祭り 花壇整備ボランティア	●避難訓練(町民セン ター・地域人材育成研 修交流センター) ●チャレンジクラブ(10月 ～12月)	●冬季ゲートボール大会 ●郷土学館企画展「昔の 美瑛写真展」(11月1日～ 11月30日)	●青年会議冬の交通安全 キャンペーン	●スキー教室・スノーボー ド教室・スキーであそぼ(1 月) ●リズムストレッチエクサ サイズ(1～2月) ●全町ミニバレーボール 大会 ●郷土学館展示「オーロ ラ」	●青年会議子ども映画祭 ●避難訓練(町民セン ター・地域人材育成研 修交流センター)	●JAゲートボール大会						

# 議案(3)資料

## びえい出会いふれあい祭りについて

公民館事業の「こども祭り」と社会福祉協議会の「ふれあい祭り」を併せて、平成14年度から「びえい出会いふれあい祭り」として8月の最終日曜日または9月の第1日曜日に開催。

以来、社会教育委員（委員長・副委員長）と社会福祉協議会（会長・副会長）が中心となり町内の関係団体で実行委員会を組織し、明るく充実した家庭づくり・地域住民のコミュニケーションや思いやりの心で支えあいながら安心して暮らせるまちづくりを目指して、毎年多くの来場者（令和5年度2,000人）をお迎えし実行委員（15人）はじめ数多くのボランティアスタッフ（約200人）にご協力いただき、運営に当たっております。

令和6年度の催事内容等につきましては、今後の実行委員会で協議を進めてまいります。

### ●実行委員会

（令和7年度 委員長：社会教育委員会長

副委員長：少年団育成連絡協議会会長）

社会教育委員（委員長・副委員長）、社会福祉協議会（会長・副会長）、健康と福祉のまちづくり会議（委員長・副委員長）、青年会議（花輪会長）、婦人親交会（西森会長）、少年団育成連絡協議会（笠原会長）ほか

### ●事業費（予算）1,500千円

美瑛町補助金 1,000千円、社会福祉協議会負担金 100千円、  
バザー・縁日収入 400千円

### ●今後のスケジュール

令和7年7月上旬 第1回実行委員会（運営体制・催事内容等協議）

令和7年8月上旬 第2回実行委員会（催事内容・人員配置等の決定）

令和7年8月30日（土）会場準備（午前中）

令和7年8月31日（日）催事当日

## 2024 びえい出合いふれあい祭り 開催要項 (案)

- 1 目 的 丘のまちびえいに住むすべての住民が、年齢や職種など、それぞれの立場にかかわらず、多くの人たちとふれあう場を提供することで、明るく充実した家庭づくりや、地域づくりと地域住民のコミュニケーションを促す。  
また、住民一人ひとりにとって地域への社会参画の場であるとともに、社会参画をはじめるきっかけの場となることを目指す。
- 2 日 時 令和6年9月1日(日) 午前10時～午後2時
- 3 会 場 美瑛町町民センター館内及び駐車場(美瑛町寿町2丁目3番13号)
- 4 主 催 びえい出合いふれあい祭り実行委員会
- 5 後 援 美瑛町 美瑛町教育委員会 美瑛町社会福祉協議会  
(予 定) 独立行政法人国立青少年教育振興機構国立大雪青少年交流の家  
美瑛消防署 美瑛町青少年健全育成協議会 美瑛町校長会  
美瑛町危険物安全協会 美瑛町防火管理者協会  
旭川地方食品衛生協会美瑛部会
- 6 協 力 美瑛町民生委員児童委員協議会 美瑛ロータリークラブ 美瑛慈光会  
(予 定) 美瑛町老人クラブ連合会 あゆみの会 美瑛町建設業協会  
美瑛町にここ市場実行委員会 美瑛町少年団育成連絡協議会  
美瑛町婦人親交会 美瑛町青年会議 美瑛町すずらん大学  
NPO法人びえいくらしの助けあい 美瑛高等学校  
美瑛町人権擁護委員会 美瑛町社会を明るくする運動推進委員会  
東京経済大学葵祭実行委員会 美瑛町健康と福祉のまちづくり会議  
美瑛町社会教育委員
- 7 実行委員 美瑛町社会福祉協議会会長 古村 祐一  
" 副会長 内藤 静世  
美瑛町健康と福祉のまちづくり会議委員 ○○ ○○  
" ○○ ○○  
美瑛町民生委員児童委員協議会会長 岡崎 隆  
美瑛ロータリークラブ会長 川崎 章道  
美瑛町婦人親交会会長 西森 郁子  
美瑛町老人クラブ連合会会長 小滝 利和  
NPO法人びえいくらしの助けあい理事長 武井 一真  
美瑛町にここ市場実行委員会代表 橋本 大輔  
国立大雪青少年交流の家所長 山下 達也  
美瑛町社会教育委員長 三野 雅司  
" 副委員長 佐藤 憲明  
美瑛町青年会議会長 花輪 紀宏  
美瑛町少年団育成連絡協議会会長 笠原 裕介

- 8 催事内容 (予定)
- ふれあい広場
- ①人権啓発・社会を明るくする運動コーナー（啓発、ティッシュ配布）
  - ②バザー（カレーライス、やきそば、フランクフルト、焼き鳥、飲物他）
  - ③わたあめ・ポップコーン・カキ氷
  - ④こねこねサークル、ちょこっ陶展示販売
  - ⑤美瑛消防署コーナー（救急車乗車体験、記念撮影）
  - ⑥にこにこ市場（農産物販売）
  - ⑦重機体験コーナー（タイヤショベル・除雪車等乗車体験）
  - ⑧もちまき

福祉の広場

- ①社会福祉協議会コーナー  
（赤い羽根共同募金、ボランティア活動紹介、リサイクルコーナー、ふまねっと体験コーナー）
- ②福祉施設での製作物展示及び介護用品等の展示  
（デイセンターすずらん、マルベリー、満天の丘輝星、慈光園、アトリエ・トムテ、キャラバンメイト連絡協議会）
- ③美瑛手話サークル活動紹介
- ④美瑛町農福連携推進協議会「美進のうふく農園」

子ども広場

- 縁日コーナー（ヨーヨー釣り、すくいもの、型抜き、スピードくじ、しゃてき、おめん、駄菓子 他）

発表の広場

- 少年少女道外研修発表会
- 町内学校の学習発表会（美瑛小スクールバンド、美瑛中吹奏楽部）

その他

- 国立大雪青少年交流の家コーナー（オリジナル缶バッジづくり）
- 美瑛高校コーナー（北海道MA+CHプロジェクト紹介）
- (株)JEPLANコーナー（環境双六「リサイコロ」）新
- 室蘭工業大学コーナー（ゼロカーボンの取組紹介）新
- 大妻女子大学コーナー（海育事業）新
- 北海道開発局コーナー（第9期北海道総合開発計画PR）新

- 9 事務局
- |             |                   |
|-------------|-------------------|
| 美瑛町文化スポーツ課  | TEL 9 2 - 4 1 4 1 |
| 美瑛町保健福祉課    | TEL 9 2 - 4 2 4 5 |
| 美瑛町社会福祉協議会  | TEL 9 2 - 0 7 3 3 |
| 美瑛町教育委員会管理課 | TEL 9 2 - 4 3 4 2 |

## 2025 びえい出合いふれあい祭り 実行委員会

日時：令和7年 月 日（ ）午後 時～

会場：町民センター2階 第3・第4会議室

### 1 開 会

### 2 町民憲章朗唱

### 3 実行委員及び事務局職員自己紹介

### 4 実行委員長・副委員長の選出について

	令和7年度	令和8年度	令和9年度
実行委員長	社会教育委員	少年団育成連	社会福祉協議会
副実行委員長	少年団育成連	社会福祉協議会	社会教育委員

### 5 実行委員長挨拶

### 6 協議事項

#### (1) 2025びえい出合いふれあい祭り 開催要項及び事業予算（案）について

日時：令和7年8月31日（日）午前10時～午後2時

会場：町民センター館内及び駐車場

#### (2) 今後の予定

①各団体への協力依頼について 7月25日（金）までに集約

②当日の役割分担表の送付について 8月18日（月）発送予定

③広報・周知について

ポスター掲示、8月29日新聞折込、8月29日～30日防災無線・LINE

④前日準備及び当日のご協力

【8月30日（土）】9：00集合 テント設営、物品等整理

【8月31日（日）】9：00集合 各担当場所へ

#### (3) 反省会（慰労会）

日時：令和7年8月31日（日）午後3時30分

会場：町民センター3階大会議室

会費：500円

### 7 閉 会

# 町民憲章

わたくしたちは、美瑛町の町民であることに誇りと責任を感じこの憲章をかかげてその実践につとめましょう。

1. 心もからだもすこやかに、  
りっぱにつとめをはたしましょう。
1. 互にむつみ話しあい、  
楽しい家庭をつくりましょう。
1. きまりを守り助けあい、  
明るい社会をつくりましょう。
1. 自然を愛し文化をたかめ、  
豊かな郷土をつくりましょう。

美 瑛 町

## 第11次社会教育中期計画策定について（案）

## 議題（4）資料

### 【計画の位置づけ】

教育基本法第17条及び社会教育法第3条に規定される地方公共団体の任務を遂行するため、美瑛町における社会教育振興の方向性を示すものであり、「美瑛町まちづくり総合計画」や「美瑛町教育大綱」「美瑛町教育振興基本計画」などの関連計画と整合性を図りながら策定するものです。

### 【計画の期間について】

教育基本法第17条に基づき国が定めた「教育振興基本計画」（平成30年6月策定）では、10年間を通じて目指すべき教育の姿を明らかにし、今後5年間に取り組む施策を総合的・計画的にしていることから、これまでどおり、本町の社会教育を推進する計画についても、5か年の中期計画とします。

### 【計画策定までの流れ（予定）】

- ①6月 日 第1回社会教育委員会兼公民館運営委員会兼生涯学習推進委員会議  
中期計画策定の諮問  
アンケート調査表の確認
- ②6月 アンケートの実施
- ③7月中旬 第1回社会教育中期計画策定会議  
アンケート結果の報告  
計画の基盤となる「社会教育・生涯学習に大切なこと」などのテーマで、ワークショップ形式を実施
- ④8月中旬 第2回社会教育中期計画策定会議  
第1回の会議を踏まえ、計画全体のテーマや計画領域を定め、意見の深化を図るためにワークショップを実施
- ⑤10月中旬 第3回社会教育中期計画策定会議  
会議を踏まえ、事務局が作成した計画素案の確認
- ⑥11月下旬 第4回社会教育中期計画策定会議  
第3回会議を踏まえた計画の確認  
※進捗状況によっては郵送にて確認をお願いする。
- ⑦12月中旬 委員長副委員長事務局会議  
計画全体の確認
- ⑧1月下旬 第5回社会教育中期計画策定会議  
完成した計画の報告・最終確認
- ⑨2月上旬 第11次社会教育中期計画答申

# きっかけ



美瑛町教育委員会

# 町民憲章 ▲ 実践項目

## 一、心もからだもすこやかに

りっぱにつとめを  
はたしましょう。

- (一) 早起きをしよう。
- (二) からだをきたえよう。
- (三) 生活の合理化をはかろう。
- (四) 生活信条をもとう。

- (ア) ラジオ体操をしよう。
- (イ) 朝の散歩をしよう。
- (ア) 歩くことを心がけよう。
- (イ) 自らスポーツをしよう。
- (ア) 生活のむだをはぶこう。
- (イ) 月(週)間予定表をつくらう。
- (ア) 生活目標をたてよう。
- (イ) 生活にけじめをつけよう。

## 一、互におつみ話しあい

楽しい家庭を  
つくりましょう。

- (一) あいさつを交わそう。
- (二) 感謝のことばを交わそう。
- (三) 話し合いの場を多くしよう。
- (四) 敬愛の心をもとう。

- (ア) おはよう、おやすみ、いってまいります  
ただいま、をおお。
- (イ) はつきり返事をしよう。
- (ア) ごくろうさま、おつかれさまを言おう。
- (イ) ありがとう、すみませんを言おう。
- (ア) 家族レクリエーションをしよう。
- (イ) 夕食は団らんの場合にしよう。
- (ア) 互に相手をいたわろう。
- (イ) 老人を大切にしよう。

## 一、きまりを守り助けあい

明るい社会を  
つくりましょう。

- (一) 時間を守ろう。
- (二) 明るい職場をつくらう。
- (三) みんなでよい子に育てよう。
- (四) 公共心を高めよう。
- (五) 助け合い運動をすすめよう。
- (六) 交通規則を守ろう。

- (ア) 会合は五分前に出席しよう。
- (イ) 開会、閉会の時刻を正確に守ろう。
- (ア) 相手の立場を考えよう。
- (イ) 正しくあいさつをしよう。
- (ア) どの子どもにも声をかけよう。
- (イ) よい言葉、よい行いをさせよう。
- (ア) 公共の施設を大切にしよう。
- (イ) ごみをちらかさないようにしよう。
- (ア) 人には親切にしよう。
- (イ) ボランティア活動をしよう。
- (ア) 安全運転、安全歩行をしよう。
- (イ) 自転車は二人乗りはやめよう。

## 一、自然を愛し

文化をたかめ  
豊かな郷土を  
つくりましょう。

- (一) 花と緑のあるまちにしよう。
- (二) 自然環境を整えよう。
- (三) 生活の中に文化をとりいれよう。
- (四) 郷土の文化遺産を大切にしよう。

- (ア) 家庭に花を植えよう。
- (イ) 町の花や木を大切にしよう。
- (ア) 山や川をきれいにしよう。
- (イ) 野鳥や高山植物を大切にしよう。
- (ア) くらしの中に趣味をもとう。
- (イ) 文化講座や行事に参加しよう。
- (ア) 郷土資料を保護しよう。
- (イ) 郷土芸能を育てよう。

## 第10次美瑛町社会教育中期計画の策定にあたって

平成30年6月に国において「第3期教育振興基本計画」が策定され、情報社会の更なる進展、様々な産業構造の変革、人々の働き方やライフスタイルの変化など変わり続ける社会の中で、「人生100年時代の到来」に向け、「生涯にわたる一人一人の可能性とチャンスを最大化」することを重点として、取り組みが進められております。

本町においては、平成27年度から令和2年度までの5か年を計画期間とした第9次美瑛町社会教育中期計画に基づき社会教育の推進をしております。この期間中には平成28年に郷土学館、平成30年には町民プールが建設され新たな活動拠点が整備されるとともに、各事業を展開しながら社会教育の推進を図っております。

しかしながら、人口減少、少子高齢化の進行や情報技術の進展などにもない社会状況や個人のライフスタイルなどが大きな変容を遂げ、住民のニーズも変わってきています。また、令和2年1月に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大はいまだ収束せず、新たな生活様式での対応を必要としています。

このことから、令和3年度から5か年の社会教育の指針となる第10次美瑛町社会教育中期計画策定につきましては、社会環境の変化にもなう町民ニーズを把握するため生涯学習を実践している方々へのアンケートを実施しました。その結果について社会教育委員の皆様には十分な御審議をいただき、新たな学習課題を取り込み本計画が答申されております。

今後は前計画からの「きっかけ」「つながり」「やりがい」の3つの重要な柱を継続しつつ、本計画に示された方針に基づき、町民の皆様と共に生涯学習の推進、そして、活力ある地域づくりに努めてまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、第10次社会教育中期計画の策定につきまして、御審議を頂いた社会教育委員の皆様やアンケートに御協力をいただいた方々、関係者の皆さまに厚くお礼を申し上げます。また、町内の各分野で社会教育に携わる皆様におかれましては、これからも美瑛町の社会教育の推進に一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年3月

美瑛町教育委員会  
教育長 千葉茂美

# 目 次

## 第1章 計画策定の基本的な考え方

- 1 計画策定について・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3 計画の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 4 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 5 社会教育をめぐる現状と課題・・・・・・・・・・3

## 第2章 社会教育推進のあり方

- 1 社会教育基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
- 2 社会教育推進目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 3 領域別社会教育推進の重点・・・・・・・・・・13

## 第3章 社会教育の推進方策

- 1 芸術・文化・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
- 2 スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 3 交流・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
- 4 学び・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
- 5 施設の機能と役割・・・・・・・・・・・・・・・・23
- 6 継続的な学びの場の確保・・・・・・・・・・25

## 資 料 編

- 諮問書・答申書・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
- 第10次美瑛町社会教育中期計画策定委員会委員名簿・・・29
- 第10次美瑛町社会教育中期計画策定の経過・・・・・・・・30

# 第1章 計画策定の基本的な考え方

## 1 計画策定について

人生100年時代を迎えようとしている今、人口減少や高齢化をはじめとする多様な課題の顕在化や、超スマート社会(Society5.0)(※1)の実現に向けた技術革新など、社会の大転換が進んでいます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から、新たな生活様式(※2)が求められ、これまでどおりの社会教育事業の運営や自主的な団体・サークル活動が困難な状況となっています。

本町においては、雄大な十勝岳連峰を背景にした美しい丘が広がる農村景観など、地域固有の魅力を活かした各種事業の実施や、十勝岳の噴火や風水害に対する防災教育など、多くの取り組むべき学習課題が存在しています。

このような状況の中、持続可能な地域づくりを目指すべく、町民一人一人の生涯学習の実践のために、途切れることのない学習機会の提供と活動の場の確保を行い、「一人一人の自己実現」と「活力にあふれた豊かなまちづくり」のための社会教育を推進していく必要があります。

このことから、社会教育行政の指針となる「第10次美瑛町社会教育中期計画」を策定します。

### ※1「超スマート社会(Society5.0)」とは

必要なもの・サービスを、必要な人へ、必要な時に、必要なだけ提供し、社会の様々なニーズへきめ細かに対応し、あらゆる人が質の高いサービスを受け、年齢、性別、地域、言語といった違いを乗り越え、快適に暮らすことのできる社会をいう。

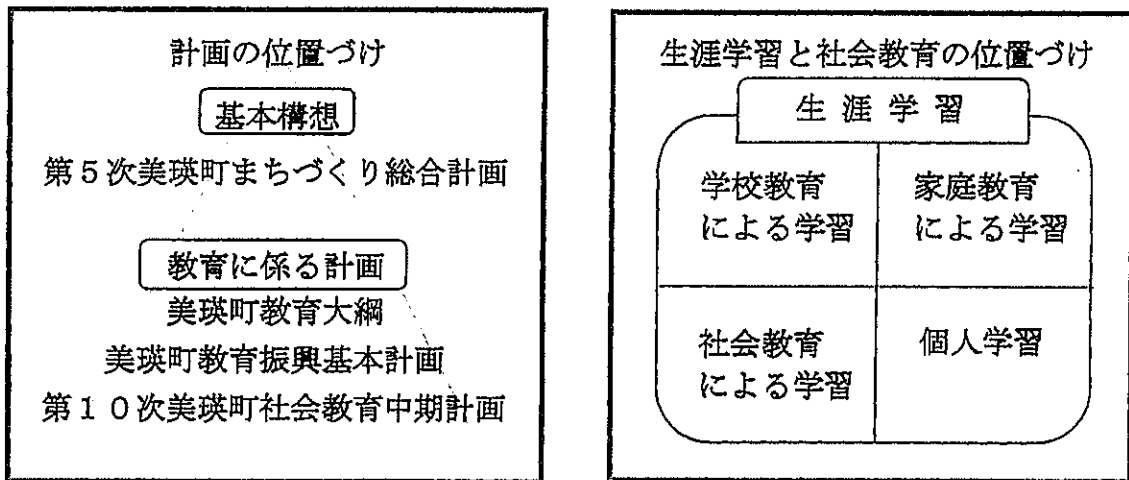
また、Society(サティ)5.0とは、人類がこれまで歩んできた狩猟社会(Society1.0)、農耕社会(Society2.0)、工業社会(Society3.0)、情報社会(Society4.0)に続く新しい社会の実現に向けた仮想デジタル空間と現実世界を融合させた一連の取り組みのことをいう。例えば、AIを活用したスマート農業や介護ロボットの導入など。

### ※2「新たな生活様式」とは

新型コロナウイルス感染症拡大を受け、自身や周りの人、そして地域を感染拡大から守るための、日常生活における感染防止対策を踏まえた生活様式のことをいう。例えば、人との間隔をできるだけ2m空けることや、こまめに換気をすること、3密(密集・密接・密閉)の回避を行うことなど。

## 2 計画の位置づけ

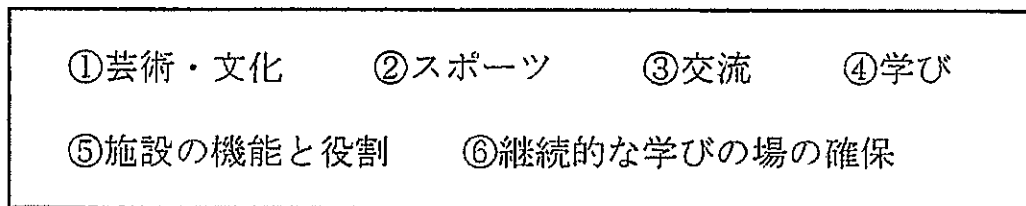
この計画は、教育基本法第12条において「個人の要望や社会の要請にこたえ、社会において行われる教育」と定義されている社会教育について、社会教育法第3条に規定される地方公共団体の任務を遂行するために、「第5次美瑛町まちづくり総合計画（平成28年から令和7年）」を上位計画とし、令和2年度に見直しが行われる「美瑛町教育大綱」や、「美瑛町教育振興基本計画」などの関連計画との整合性を図りながら、よりよい生涯学習の実践の支援と社会教育を推進するものです。



## 3 計画の構成

本計画では、社会教育推進上の基本的な課題を明らかにし、町民の学習ニーズを把握したうえで、今後5年間において町民一人一人が学習課題を意識し活動できるような社会教育行政の推進目標を設定します。

また、常に変化し続ける社会情勢や個人の多様な学習ニーズへ柔軟に対応できるよう、以下の6つの領域ごとに重点を定め対策を設定します。



## 4 計画の期間

この計画の期間は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

## 5 社会教育をめぐる現状と課題

計画の策定にあたり、各種事業参加者や社会教育団体・サークル、施設利用者に対して、どのようなテーマに対して興味関心を持っているか、今後どのようなテーマに対して学習意欲を持っているかなどを調査しました。

【調査対象】「一般」「児童生徒」「保護者」の3区分を対象としました。  
「保護者」に対しては、自分の子どもに対する調査に併せて、「一般」と同じ調査を実施しました。

No.	対 象	件数	一般	児童	保護者
1	各施設関係団体	171名	○		
2	各施設利用者	50名	○		
3	文化スポーツ団体	30名	○		
4	一般対象事業参加者	75名	○		
5	分館長及び分館主事	24名	○		
6	すずらん大学生	80名	○		
7	子ども事業参加者 (4年生以上)	90名		○	
8	子ども事業参加者 保護者(4年生以上)	90名	○		○
9	子ども事業参加者 保護者(低学年)	60名	○		○
	配付数	670名	580名	90名	150名※

※保護者150名は一般580名の内数

【調査期間】令和2年6月19日(金)から令和2年7月3日(金)

【回答結果】

	回答数/対象者	回答率
全 体	353/670	52.7%
一 般	302/580	52.1%
児 童	51/90	56.7%
保 護 者	86/150	57.3%

調査対象「一般」アンケート結果（抜粋）（回答数 302 名）

性別)

男性：114名（38%）

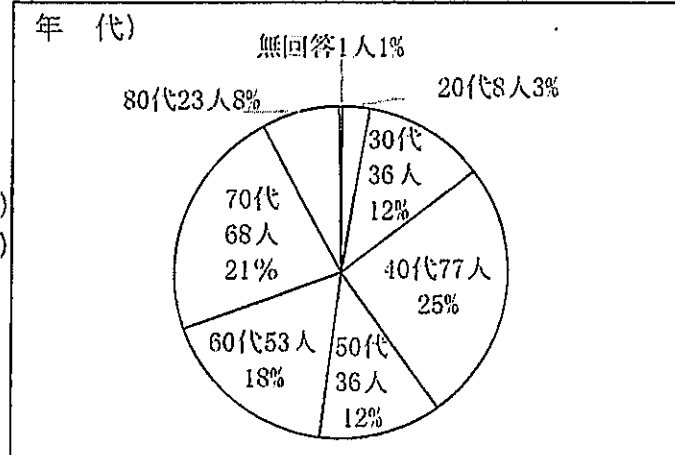
女性：188名（62%）

お住まい)

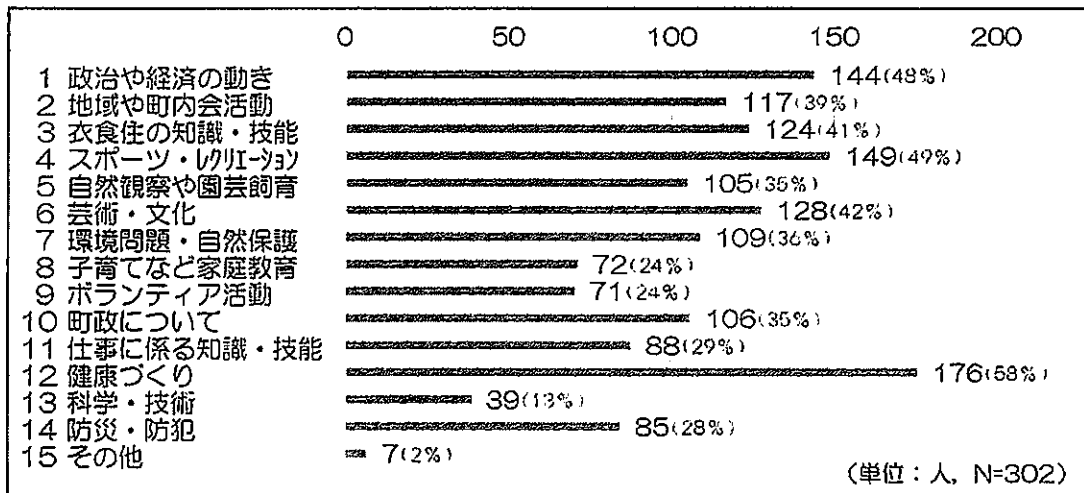
市街地：224名（74%）

市街地外：78名（26%）

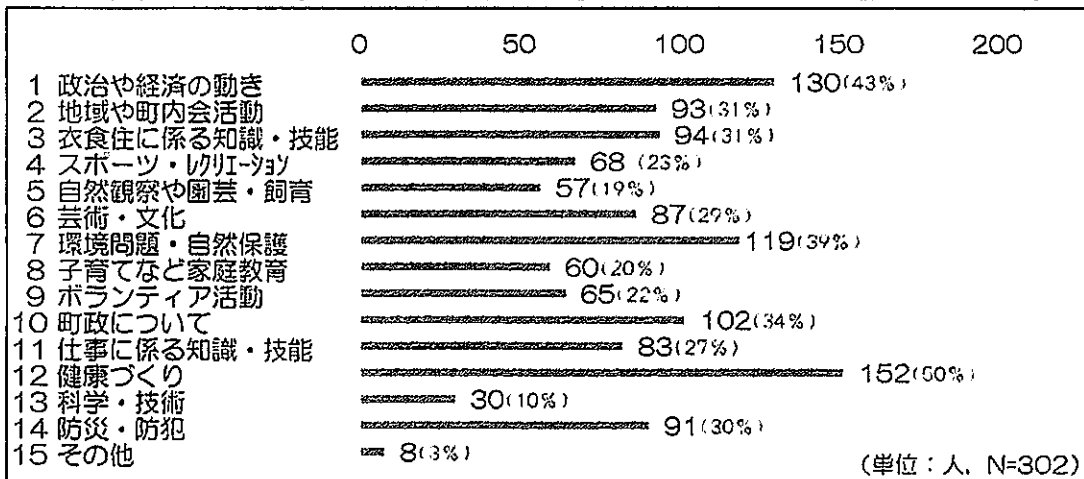
年代)



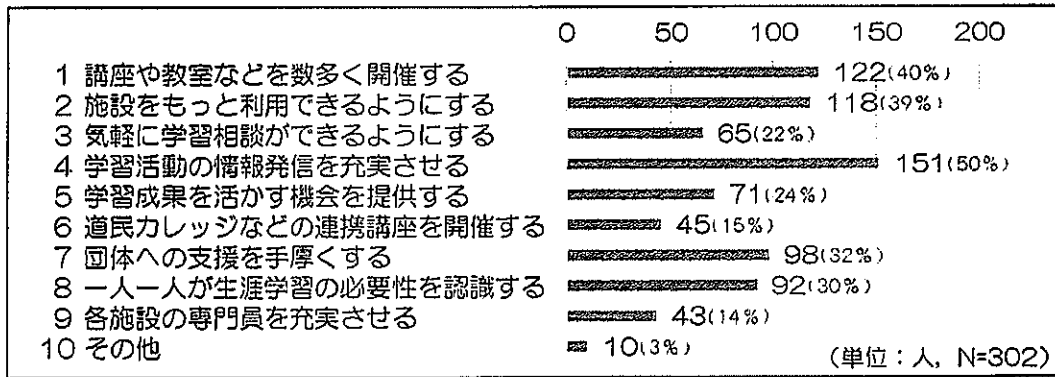
問1 普段、興味関心を持っていることを全てお選びください。



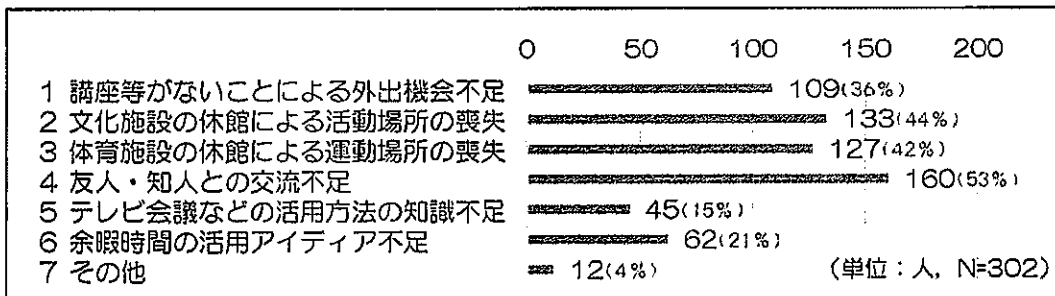
問2 今後、学習しなければならないと考えることを全てお選びください。



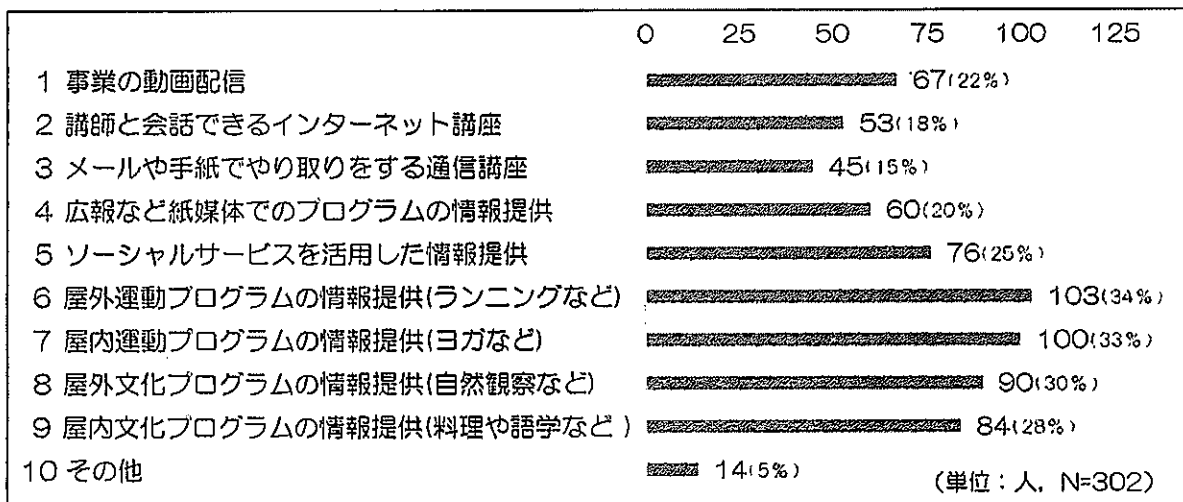
問3 今後、町民の学習活動を充実させるために必要なものを全てお選びください。



問4 あなたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛期間中に、日々の学習・サークル活動の面で困ったことを全てお選びください。



問5 あなたは、再度外出自粛などが求められた場合、町民の学習活動を維持させるために、どのようなことが必要だと考えますか。当てはまるもの全てお選びください。



調査対象「児童生徒」アンケート結果（抜粋）（回答数51名）

性別)

男性：24名（47%）

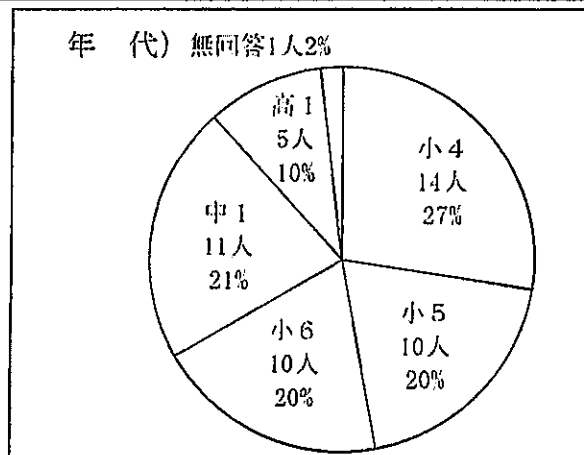
女性：27名（53%）

お住まい)

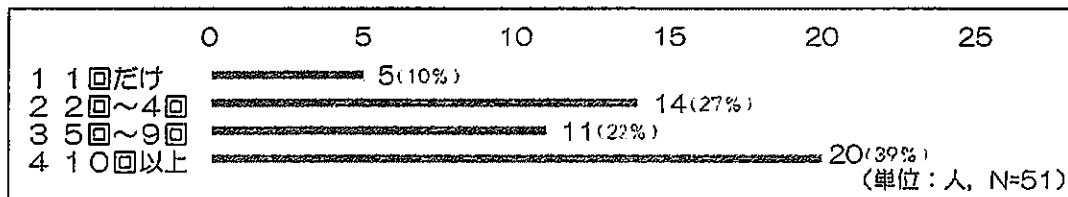
市街地：42名（82%）

市街地外：7名（14%）

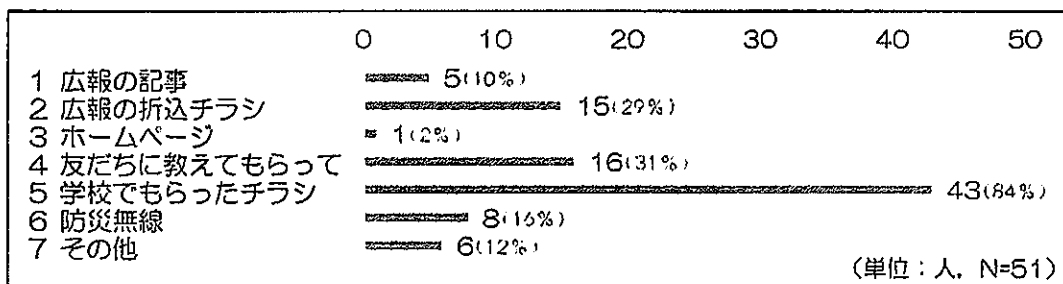
無回答：2名（4%）



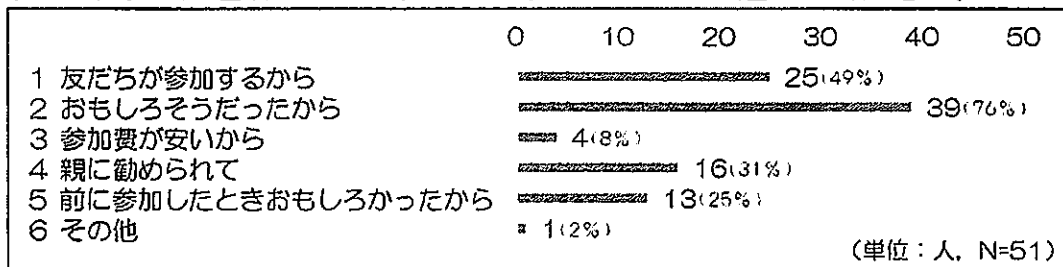
問1 町民センターや郷土学館、図書館の行事や教室にはどれくらい参加したことがありますか。



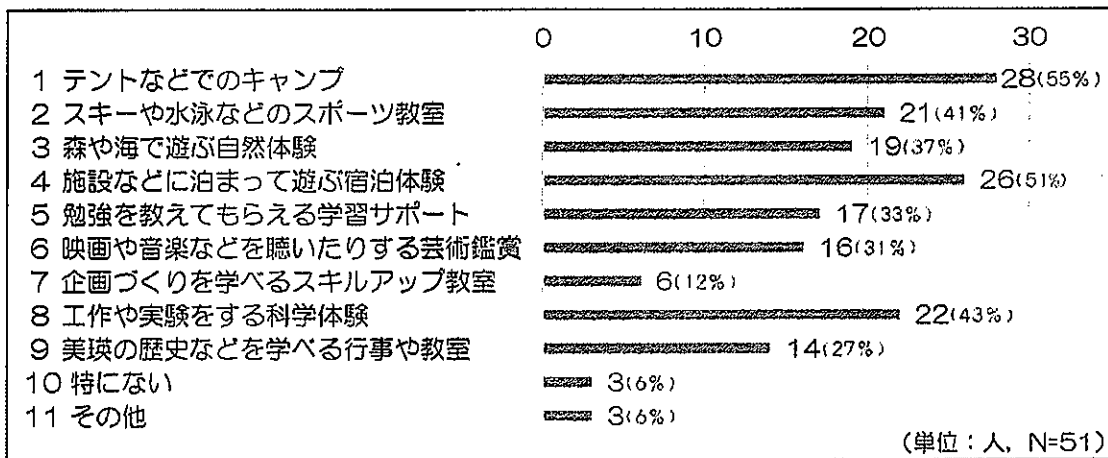
問2 行事や教室を何で知りましたか。当てはまるもの全てを選んでください。



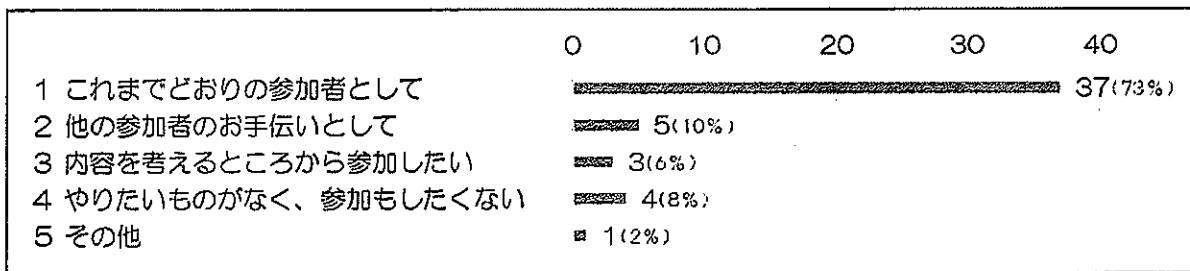
問3 参加した理由について、当てはまるもの全てを選んでください。



問4 あなたが、参加したいと思う行事や教室はどれですか。



問5 あなたが、やりたい行事や教室に参加するときに、どのような形で参加したいと思いますか。



調査対象「保護者」アンケート結果（抜粋）（回答数86名）

性別)

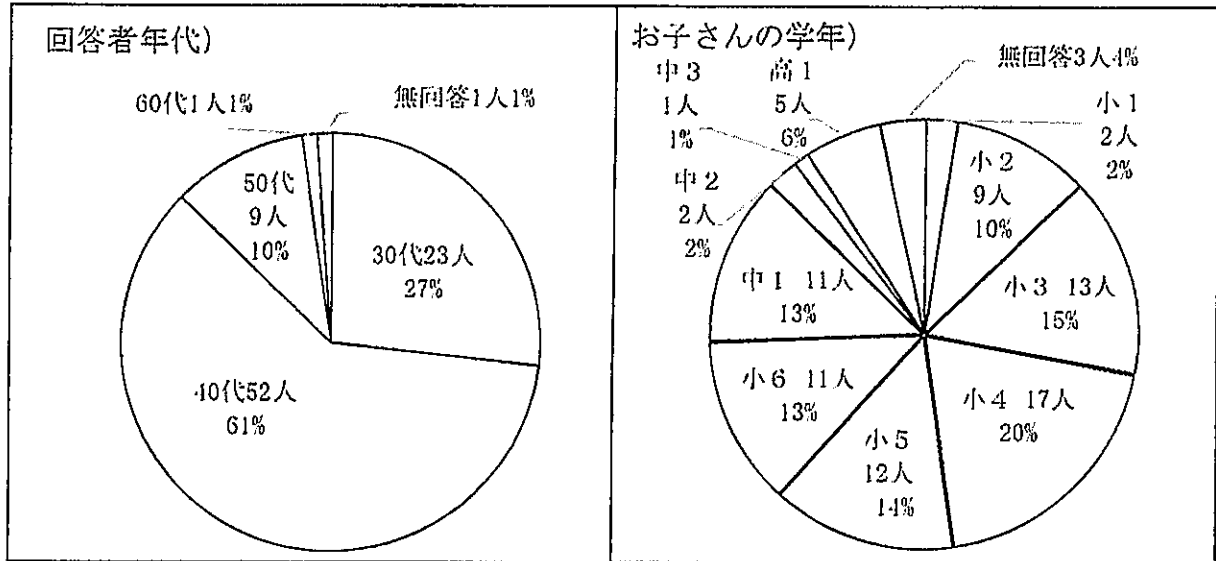
男性：28名（33%）

女性：58名（67%）

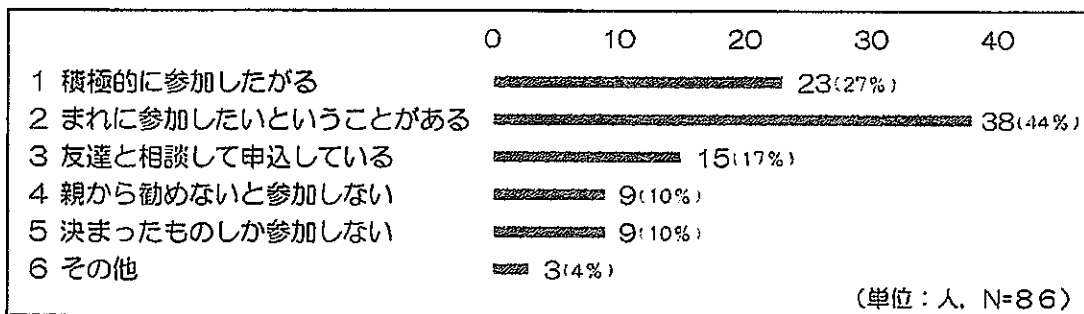
お住い)

市街地：63名（73%）

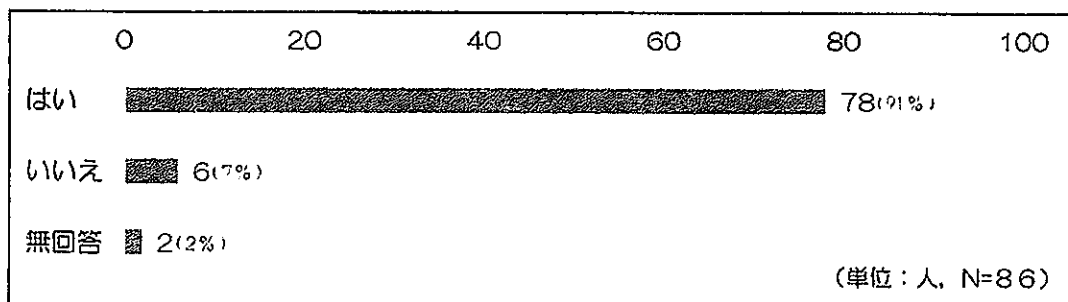
市街地外：23名（27%）



問1 お子さんの町民センターや郷土学館、図書館で行う事業に対する参加意欲について、当てはまるもの全てをお選びください。

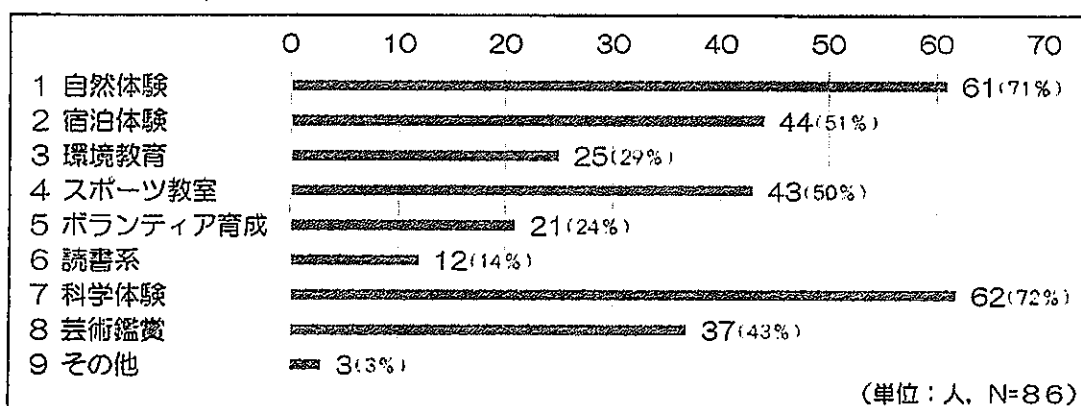


問2-1 事業参加後に、お子さんと事業のことについて話しをしましたか。

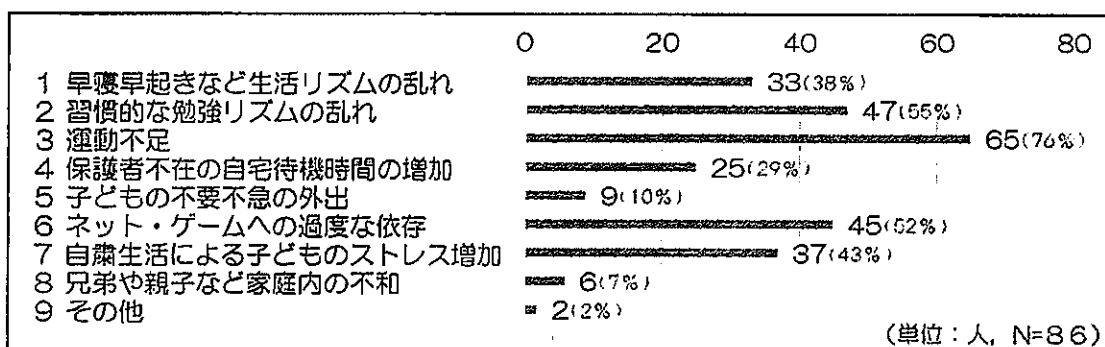




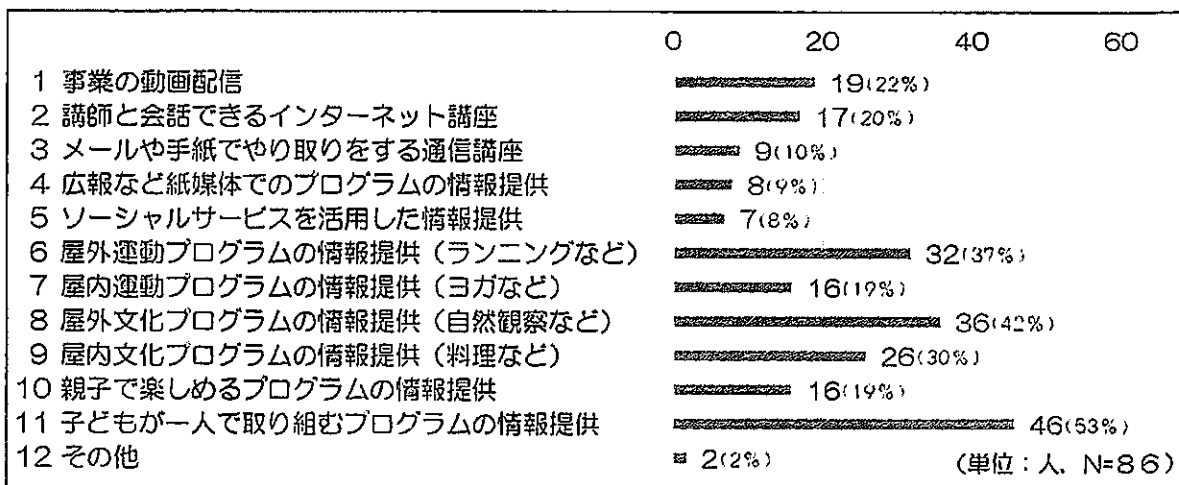
問4 今後、参加させたいと思う事業に当てはまるものを全てお選びください。



問5 お子さんの日々の生活面で、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための自粛期間中に困ったことを全てお選びください。

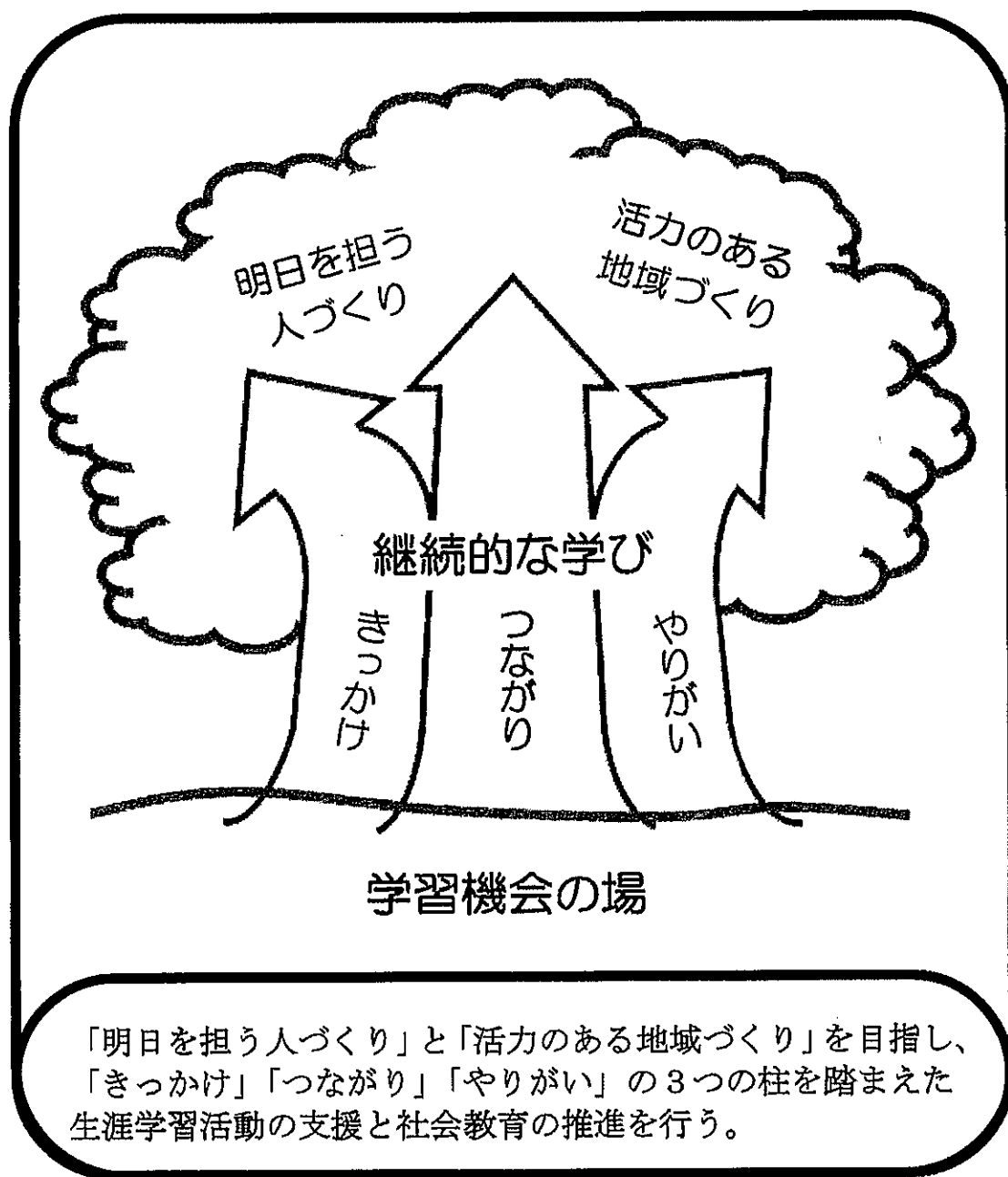


問6 再度外出自粛などが求められた場合、お子さんのために、町民センターや郷土学館、図書館に、どのような対応をして欲しいか、当てはまるもの全てをお選びください。



## 第2章 社会教育推進のあり方

### 1 社会教育基本理念



## 2 社会教育推進目標

町民一人一人の学習ニーズを把握し、多くの場面で生涯学習活動支援を行います。また、学習活動が継続的かつ発展的に行われ、多くの町民が地域の担い手として活躍し、持続可能な活力のある地域づくりに向けて、「きっかけ」「つながり」「やりがい」の3つの柱の視点を持ち、より効果的に実践されるよう以下の推進目標を定めます。

### (1) きっかけ

町民の学習ニーズと、社会的・地域的課題を十分に把握し、何かをしたいと考え始める「きっかけ」、何かをしたい時に始められる「きっかけ」、2つの「きっかけ」の提供と創出を行います。

### (2) つながり

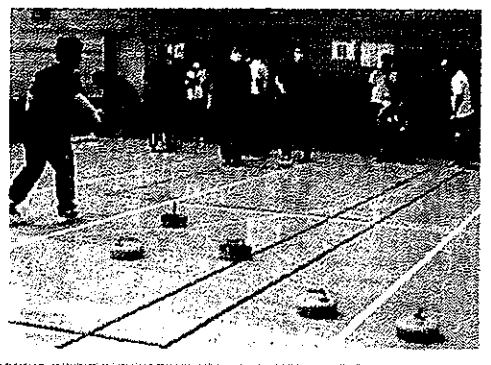
個人での「つながり」だけではなく、地域、団体、世代などの様々な立場と枠組みで「つながり」が生まれ、そして育まれていくような機会の提供と創出を行います。

### (3) やりがい

文化・スポーツ活動を「やりがい」を感じながら活動できるよう、施設機能の整備と充実を図るとともに、日々の活動の成果を発揮し「やりがい」を感じることでできる発表の場を確保します。



【びえい出かいふれあい祭り】



【スポーツ教室  
「大人版スポーツチャレンジクラブ」】

### 3 領域別社会教育推進の重点

#### (1) 芸術・文化

子どもから大人まで、継続的かつ意欲的に芸術・文化活動ができる体制を整え、地域の伝統文化を含め幅広い芸術・文化にふれる機会の提供と創出を行います。

- 芸術・文化サークルの支援
- 講演会や演奏会の実施 など

#### (2) スポーツ

町民の関心や目的、個々の適性に応じて「いつでも」「だれでも」「いつまでも」活動できるよう機会の充実と継続的に活動できる環境整備を行います。

- 多種多様なスポーツ事業の開催
- 活動の拠点となるスポーツ施設の整備
- 個人・団体への活動支援 など

#### (3) 交流

団体間の交流促進と活動支援、そして、個人の活動のきっかけとつながりづくりの支援のために、多様な交流の場の確保と機会の創出を行います。

- 異世代・異業種交流
- 地域間交流
- 国際交流
- 団体の情報発信 など

#### (4) 学び

町民一人一人の学習ニーズを踏まえた学びの場の提供と創出を行います。また、学習者が理解を深め、自ら主体的に行動できるよう学習支援を行います。

- 美瑛学
- 家庭教育
- 環境教育※1
- 各施設での事業実施 など

※1 「環境教育」とは

地球環境について理解を深め、環境の回復や創造に向けた知識や関心を高める教育のことをいう。例えば、公民館事業「夏自然とふれあいの里」や、美瑛学事業「秋の植物観察会」など。

### (5) 施設の機能と役割

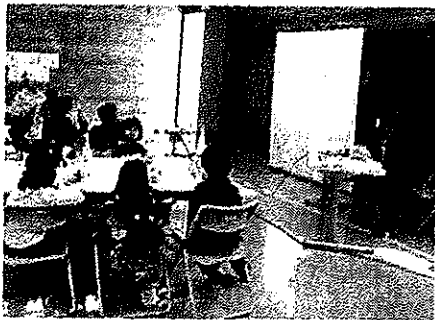
誰もが自分の目的にあった活用ができるよう施設の管理と機能の充実を行い、さらに必要な情報を必要な人へ届けられるような情報発信を行います。

- 利用しやすい運営体制
- 様々な手法での情報発信 など

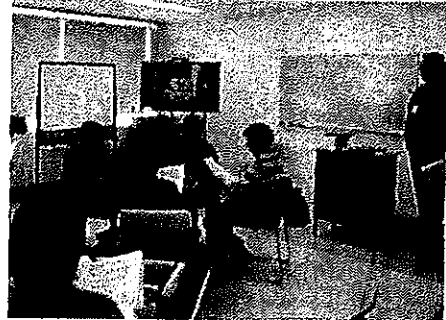
### (6) 継続的な学びの場の確保

町民一人一人の生涯学習の実践のために、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」自らデザインし、自ら学び行動できるよう学びの場の確保と学習の支援を行います。

- 新たな生活様式に対応した事業運営
- 様々な場面を想定した事業計画 など



【公民館事業・上曜学習事業「つくって遊ぼ」】



【公民館事業「麻雀教室」】



【図書館事業「ブックスタート」】



【十勝岳ジオパーク推進協議会事業  
「サポーター養成講座」】

## 第3章 社会教育の推進方策

### 1 芸術・文化

#### 【重点】

子どもから大人まで、継続的かつ意欲的に芸術・文化活動ができる体制を整え、地域の伝統文化を含め幅広い芸術・文化にふれる機会の提供と創出を行います。

#### 【現状】

芸術・文化という領域では、自らが活動する人と、鑑賞を目的とする人がいます。どちらも、芸術・文化にふれることによって、心豊かな潤いのある生活を実現することができます。

自ら活動する人が、展示会や発表会などで、日々の練習や活動の成果を発揮することによりやりがいを感じ、結果的に個人そして団体の活動が活発化することは、単にその人の欲求を満たすだけではなく、潤いのある豊かな社会の形成につながります。

また、地域の伝統文化を含め芸術・文化鑑賞を行うことは、個人の豊かな人間性を育み、創造力と感性を育て、さらには鑑賞者が活動を始めるきっかけの一つともなります。これは、新たなつながりを生むとともに、将来の芸術・文化の担い手を生み出すことにつながっていきます。

本町では、活動の成果の発表の場として、町民センターにおいてお祭りなどの催しにおけるステージ発表や作品展などが行われています。さらに、各団体やサークル主催によるクリスマスコンサートや文化祭なども行われています。

公民館事業では、芸術・文化にふれ、学ぶ場として、地域の人材を活かしたコンサートや講演会を実施し、びえい芸術文化事業推進実行委員会では、優れた芸術・文化にふれることのできる演奏会や講演会を実施しています。

また、図書館や活性化交流施設「ビ・エール」において、写真や絵画などの展示会が行われ、発表の場として活用されています。

さらに、郷土学館では、地域の歴史や文化・人々の生活についての資料の収集・保存、そして展示を行っています。また、美瑛学事業や特別展を開催し、より多くの町民が文化にふれ、学ぶきっかけづくりを行っています。

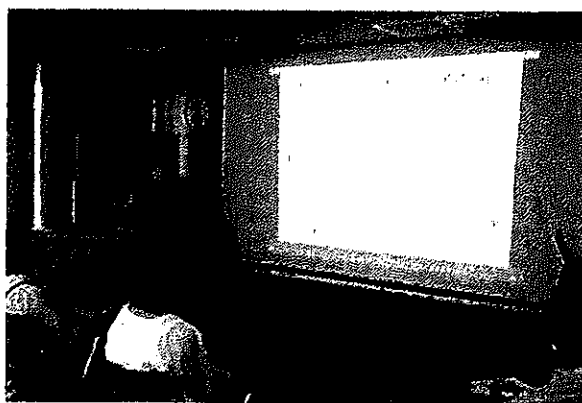
#### 【主な事業】

- びえい出あいふれあい祭り
- びえいいいきいきフェスタ
- びえい芸術文化事業推進実行委員会事業
- 美瑛学事業
- 郷土学館特別展・企画展 など

【 課 題 】	【 対 策 】
○個人・団体に対する芸術・文化活動の推進	○芸術・文化振興のため、定期的な発表の場の確保を行います。
○芸術・文化にふれる機会の確保	○町民ニーズを把握し、より効果的な開催方法の検討を行います。
○地域に根付いた芸術・文化や伝統芸能の保存と継承	○地域の芸術・文化や伝統芸能が次世代に受け継がれるよう活動支援を行います。 ○地域の歴史や文化にふれ、学ぶことのできる事業を実施します。
○活動支援のための公共施設の有効活用	○公共施設を活用し、発表や展示ができるよう支援を行います。



【びえい芸術文化事業推進実行委員会事業  
「クリスマスレクチュア in BIEI」】



【美瑛学事業「高橋北修歴史画の謎に迫る」】

## 2 スポーツ

### 【重点】

町民の関心や目的、個々の適性に応じて「いつでも」「だれでも」「いつまでも」活動できるよう機会の充実と継続的に活動できる環境整備を行います。

### 【現状】

スポーツでは、楽しみながら体を動かすことによって、爽快感や達成感、充実感、他者との連帯感を得ることができます。さらには、体力の向上やストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身両面の健康の保持と増進に大きな効果があります。

全ての町民がこのような効果を実感でき、幸福で豊かな生活を営むことができるようになるためには、「いつでも」「だれでも」「いつまでも」の視点を持ち、継続した運動機会の確保と環境整備を行う必要があります。

本町では、きっかけづくりとして子どもから大人まで幅広い世代を対象とした多種多様なテーマでスポーツ事業を実施しています。

また、事業の参加をきっかけに、参加者同士で町のスポーツ行事へチームを結成して参加するなど、スポーツを通じた交流が図られ、人と人とのつながりの発展も生まれています。

さらにスポーツ協会では、町のスポーツの普及・発展及び団体育成等に努めており、町民が継続的に活動できる環境づくりの一翼を担っています。

### 【主な事業】

- スポーツチャレンジクラブ
- 大人版スポーツチャレンジクラブ
- 全町ミニバレーボール大会
- 各種スポーツ教室 など



【全町ミニバレーボール大会】

【 課 題 】	【 対 策 】
○多種多様なスポーツ機会の創出	○多くのスポーツにふれることができるよう、多様な事業を実施します。 ○スポーツイベントや事業に参加するきっかけが生まれるよう、積極的な情報発信を行います。
○スポーツを通じた交流の拡大	○スポーツを通じた交流が図られるよう、事業の企画運営を行います。
○スポーツを継続的に活動できる環境づくり	○団体・サークルが継続的に活動できるよう、状況に応じた支援を行います。 ○健康づくりや体力づくりの視点を持ち、町内関係機関との連携を行います。
○誰もが満足できる施設の運用	○誰もが満足してスポーツを行えるよう、施設の運用や備品の整備などを行います。



【スポーツ教室「からだの使い方教室」】



【スポーツ教室「こどもスキー教室」】

### 3 交流

#### 【重点】

団体間の交流促進と活動支援、そして、個人の活動のきっかけとつながりづくりの支援のために、多様な交流の場の確保と機会の創出を行います。

#### 【現状】

交流を通して地域で友人・知人を増やし、地域に対する親しみを深めることは、教育の基本である「人づくり」そして「地域づくり」の実践のために重要です。そのため、異世代間交流や国際交流など、様々な人々との多様な交流を積極的に推進する必要があります。

また、交流の方法についても、直接的な交流だけではなく、SNSの活用など新たな手法も生まれています。その時々々の場面にあった方法を選択し、「きっかけ」「つながり」「やりがい」を生むためには、どの方法が適切であるか見極めながら、交流の場を確保する必要があります。

本町では、多くの団体が、町のイベントや各種事業にボランティアとして参加し、地域における交流が促進されています。さらに公民館で開催するイベントでは、異世代間の交流が図れるよう配慮しています。

また、公民館では、町内はもちろん道内外の自然や文化、歴史について、交流を通して学ぶことのできる事業を実施し、郷土学館では、地域で活躍する人材を活かした美瑛学事業を実施しています。

団体・サークル支援では、継続的な活動のための仲間づくりや、個人の活動のきっかけづくりとして、団体・サークル紹介や会員募集時の支援を行い、交流の輪が広がる機会の提供を行っています。

#### 【主な事業】

- びえい出あいふれあい祭り
- びえいいいきフェスタ
- 丘のまち作品展
- 人づくり育成事業
- 美瑛学講座
- 各社会教育施設の活用 など

【 課 題 】	【 対 策 】
○交流の機会の確保	○多くの世代が集まる事業において交流が図られる運営を行います。
○団体・サークルの実情に即した活動支援	○団体・サークルのニーズに合わせた支援を行います。
○継続的な活動のための団体支援と人材育成支援	○やりがいを感じられるよう、発表や展示の場を定期的に提供します。 ○活動が継続できるよう、個人や団体の支援を行います。
○新たな手法を活用した交流の促進	○SNSなど新たな技術の活用を積極的に検討し、交流と情報発信を推進します。
○的確な情報発信と発信方法の選択	○活動を希望する人に対して、的確な情報発信を行います。



【「びえいきいきフェスタ」での茶道体験】



【人づくり育成事業「少年少女道外研修」】

## 4 学び

### 【重点】

町民一人一人の学習ニーズを踏まえた学びの場の提供と創出を行います。  
また、学習者が理解を深め、自ら主体的に行動できるよう学習支援を行います。

### 【現状】

町民一人一人が、自ら気づき、行動するための、学びの場を確保することは、社会教育行政が担う大きな役割です。個人の価値観や生活スタイルが多様化し、多く存在する学習課題の中で、適切なテーマを適切なタイミングで適切な手法を使い事業を実施することが重要です。

本町では、社会教育施設において、幅広い世代を対象に多くの事業を実施しています。

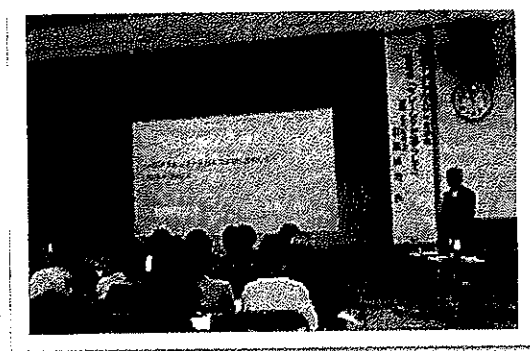
公民館では、家庭教育や自然体験、文化講座など多くのテーマを題材とした事業を実施しています。また、学校教育と連携し、土曜学習事業との共催による小学生対象事業も実施しています。

郷土学館では、地域の歴史や文化、自然環境についての展示を行うとともに、地域について学ぶ美瑛学事業を子どもから大人までを対象に実施しています。さらに、様々な特別展の開催や、天体イベントに合わせた事業や天文台の延長公開などを実施し、継続的な学びの場を確保しています。

図書館では、図書を通じた親子のふれあいの機会として、サークルによる読み聞かせや、季節のイベントを実施しています。さらに、歴史や文化にふれる成人を対象とした事業やイベントも実施しています。

### 【主な事業】

- 夏 自然とふれあいの里、冬 ふれあいの里
- 各種いきがづくり講座（ハーバリウム講座、写真撮影講座など）
- すずらん大学
- ジュニア美瑛学講座
- 美瑛学講座
- 図書館おはなし会 など



【公民館事業「すずらん大学」】

【 課 題 】	【 対 策 】
○学びの循環(※)が生まれるような継続性と発展性を見据えた事業の実施	○誰もが新たな学びをスタートし継続できるよう、事業の企画運営を行います。 ○将来を担う子ども達が、学びの中で成長できるよう、事業の企画運営を行います。 ○意欲を持った町民が活躍できるよう、地域人材を活かした講師の選定やボランティアの活用を行います。 ○関係団体との情報共有や事業連携を行います。
○必要な人へ必要な情報が届くような情報発信の実施	○的確な情報発信を行い、新たな学習機会を創出し、学習の発展が生まれるように支援します。
○適切な学習ニーズの把握	○事業後にアンケート調査を行い、より魅力的な事業を行います。 ○開催日時について十分検討を行い、多くの町民が参加できる事業を行います。
○自主学習活動への支援	○個人の学習課題を解決するため、様々な形での学習支援と情報発信を行います。
○地域性を活かした学習テーマの設定	○地域への愛着と誇りが深まるよう、地域性を活かした事業を展開します。

※「学びの循環」とは

「学び」を通じて自らを高め、「学び」の成果を社会に還元するなど、新たな社会的役割を創出し、そして、個々の「学び」が連鎖して、社会全体における持続的な教育力の向上に貢献することをいう。例えば、参加者がボランティアとなり、最終的に講師へと成長し、新たな学びを提供するようになることなど。

## 5 施設の機能と役割

### 【重点】

誰もが自分の目的にあった活用ができるよう施設の管理と機能の充実を行い、さらに必要な情報を必要な人へ届けられるような情報発信を行います。

### 【現状】

社会教育・社会体育施設は、町民一人一人の生涯にわたる学びを支援するという役割に加え、地域活性化・まちづくりの拠点、地域の防災拠点などとしての役割も強く期待されるようになり、住民参加による課題解決や地域づくりの担い手の育成に向けて、住民の学習と活動を支援する機能を一層強化することが求められています。

本町では、第9次美瑛町社会教育中期計画の期間中、郷土学館が平成28年に開館し、誰もがいつでも地域の歴史と文化にふれることができるようになりました。さらに、平成30年には通年型の町民プールが開館し、気軽に運動できる場所が増え、多くの町民に利用されています。

また、スポーツセンターや町民プールでは、利用状況をホームページで公開し、図書館では、図書の購入の際、利用者の購入希望図書のニーズを確認するなど、施設の持つ機能を町民が広く活用できるよう、利用しやすい運営体制を心掛けています。

さらに、情報発信として、主催事業に限らず町内の団体・サークルの活動についても施設でのポスター掲示や広報への掲載などを行い、仲間づくりや活動のきっかけづくりの支援を行っています。

### 【主な事業】

- 社会教育・社会体育施設の活用（施設利用や情報発信など）
- 図書等購入事業 など

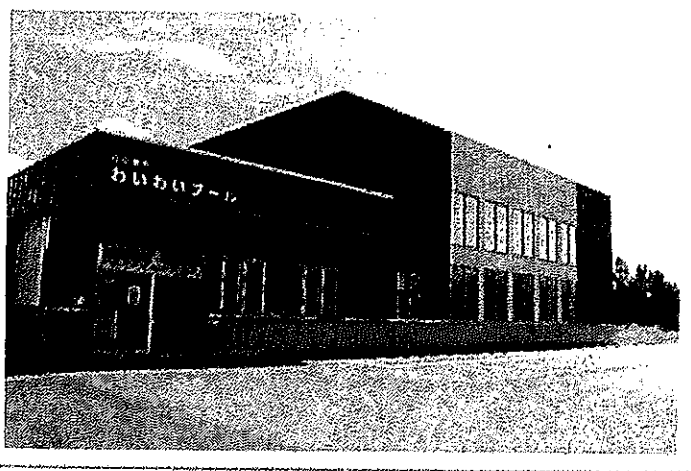
#### ※社会教育施設

町民センター、図書館、郷土学館、地域人材育成研修交流センター

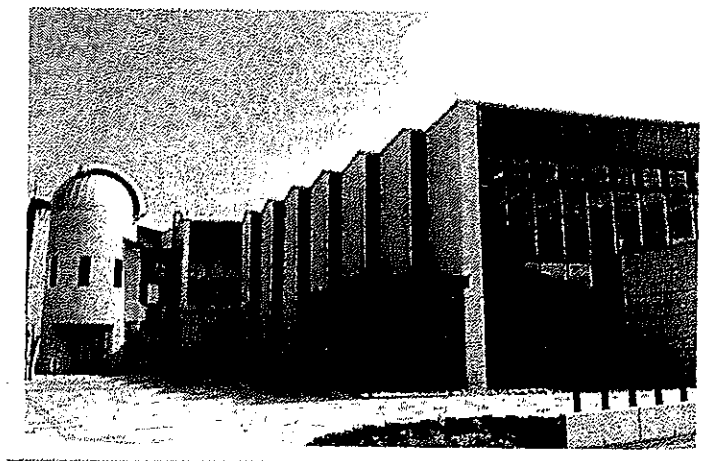
#### ※社会体育施設

スポーツセンター、町民プール、弓道場、ふれあい運動広場、丸山公園陸上競技場、丸山公園野球場、丸山公園歩くスキーコース、美瑛川堤防歩くスキーコース、町民スキー場、滑空場、白金クレール射撃場、丸山橋パークゴルフ場、新区画公園パークゴルフ場、緑橋パークゴルフ場

【 課 題 】	【 対 策 】
○施設及び備品の計画的な整備と管理	○計画的な施設管理及び備品管理を継続して行います。
○施設を有効活用した情報発信	○ロビーや廊下など、施設の空間を有効活用した情報発信を行います。
○町内各施設の連携	○利用者の問合せについて、施設間で連携し対応できる体制を構築します。
○利用者ニーズの把握	○町民ニーズを踏まえながら、計画的な施設運営を行います。



【町民プール「わいわいプール」平成30年度オープン】



【郷土学館「<sup>みそら</sup>美宙」平成29年度オープン】

## 6 継続的な学びの場の確保

### 【重点】

町民一人一人の生涯学習の実践のために、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「なんでも」自らデザインし、自ら学び行動できるよう学びの場の確保と学習の支援を行います。

### 【現状】

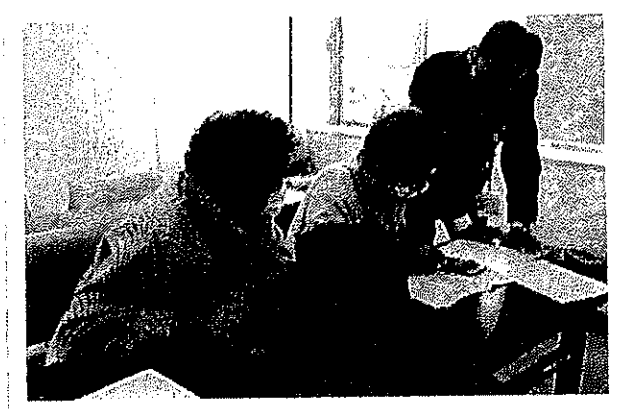
生涯にわたり、あらゆる機会に、あらゆる場所で、自由に学習機会を選択して学ぶことができる、継続的な学びの場の確保が求められています。さらに、人口減少時代における新しい地域づくりに向けた社会教育の役割として、住民相互のつながりの形成の促進や、地域の持続的発展を支える取り組みもより一層期待されています。

また、自然災害や感染症の発生により、それまでの当たり前の日常生活が失われた時に、一人一人の生涯学習活動が途切れないように、状況に応じた施設運営や事業実施、学習支援、そしてその準備をしておくことが重要です。

本町では、令和2年の新型コロナウイルス感染症に伴う自粛期間中に、各施設の休館や多くの事業が中止又は延期となった一方、広報誌において自宅でできるプログラムの掲載や、高齢者大学の学生に向けた自宅での運動プログラムの紹介など学習支援を行いました。また、新たな生活様式に対応した事業の実施には、どのような配慮が必要か検討したうえで学習機会の確保を行いました。

### 【主な事業】

- 各種事業の実施と学習情報の提供
- 広報紙への掲載や折込チラシ配布 など



【公民館事業

「ゼロから始めるスマートフォン入門講座」

【 課 題 】	【 対 策 】
○様々な状況を想定した事業の検討	○雨天時、荒天時だけではなく、様々な状況に対応した事業の企画を行います。
○事業運営のための危機管理の徹底	○事業に関わる全ての人の安全確保のため徹底した危機管理を行います。
○新たな技術や手法の積極的な活用	○状況にあった事業運営のためICT(※1)やIOT(※2)を活用した事業運営の検討を行います。 ○町民の生涯学習活動が継続できるよう、多種多様な手段を活用した支援を行います。



【公民館事業「デジタル講座」】

※1「ICT」とは

情報通信技術 (Information and Communication Technology) の略称で、コンピュータやデジタル機器上で、情報をデジタル化して送受信する通信ネットワーク及びそれらを組み合わせた情報システムやインターネット上の情報サービスの総称のことをいう。

※2「IOT」とは

モノのインターネット (Internet of Things) の略称で、コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在する様々な物体 (モノ) をインターネットに接続することで、ネットを介した遠隔監視や遠隔操作、機器同士の相互制御などができるようにすることをいう。

諮 問

令和 2年 6月10日

美瑛町社会教育委員長 様

美瑛町教育委員会  
教育長 千葉 茂 美

第10次美瑛町社会教育中期計画（5カ年）の策定について

美瑛町では、平成28年に第9次社会教育中期計画を策定し、未来を担うひとづくりと地域づくりを実践するため、「きっかけ」「つながり」「やりがい」を重点目標とし、主体的、積極的な意志をもって活動できる学習機会の提供と、継続的な学び場の提供の確立を目指し、社会教育活動を推進してまいりました。

この間、少子高齢化と人口減少社会への対策、持続可能な社会の実現に向けた課題、急速な情報化と国際化に対応できる人材育成、自助力や共助力を高める防災リテラシーの向上など、地域社会や教育を取り巻く環境が大きく変化しています。さらに、新型コロナウイルス感染拡大を受け、人との接触を減らしていく新たな生活様式も求められています。

このような情勢の中、「美瑛町教育振興基本計画（令和2年度～令和6年度）」の基本方針である「地域資源を活かした、教育と地域社会が連携する新たな未来づくり」を実践するために、町民一人ひとりが、生涯にわたって、あらゆる機会にあらゆる場所で、学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる生涯学習社会の実現を目指した社会教育行政の運営に取り組む必要があります。

つきましては、「第9次社会教育中期計画」の次期計画となる「第10次美瑛町社会教育中期計画（令和3年度～令和7年度）」の策定について諮問いたしますので、現在の社会情勢や、これまでの各事業の点検・評価、今後の課題や改善策を明確にし、対象領域、活動領域、各分野等における取り組むべき方向性などを検討のうえ答申していただきますようお願い申し上げます。

# 答 申

令和 3年 2月 3日

美瑛町教育委員会  
教育長 千葉茂美様

美瑛町社会教育委員  
委員長 三野雅司

## 美瑛町社会教育中期計画について（答申）

令和2年6月10日に美瑛町教育委員会より諮問されました「美瑛町社会教育中期計画」について、第9次美瑛町社会教育中期計画の総括と、生涯学習を実践している町民の皆様に対するアンケートを踏まえ、5回にわたる策定会議を開催し慎重に審議を重ね、この度「第10次美瑛町社会教育中期計画（令和3年度～令和7年度）」として取りまとめましたので答申いたします。

この計画は、新たな社会環境や美瑛町における学習課題を踏まえながら、「明日を担う人づくり」と「活力のある地域づくり」を実践するために、「きっかけ、つながり、やりがい」の3本の柱のもと、生涯学習活動の支援と社会教育の推進が行われるよう策定いたしました。

本答申が美瑛町における社会教育行政の推進に反映され、「生涯学習社会」の具現化が図られますよう御期待申し上げます。

## 第10次美瑛町社会教育中期計画策定委員会委員名簿

役 職	氏 名	所 属
委 員 長	三 野 雅 司	美瑛町スポーツ協会
副 委 員 長	佐 藤 憲 明	公募
委 員	大 垣 幸 治 荻 田 英 樹 金 山 達 也 酒 本 新 一 嵯 城 幸 子 佐 藤 文 彦 高 橋 徹 高 橋 良 彦	美瑛町校長会 美瑛高等学校 美瑛町校長会 美瑛町青年会議 美瑛町婦人団体連絡協議会 美瑛町少年団育成連絡協議会 公募 美瑛町文化連盟
事 務 局	平 間 克 哉 伊 藤 俊 洋 石 崎 智 大 三 上 宰 主 竹 田 容 一 田 中 芳 久 荒 明 慎 久	文化スポーツ課長 文化スポーツ課参事 文化スポーツ課課長補佐 文化スポーツ課文化振興係長 文化スポーツ課スポーツ振興係長 文化スポーツ課スポーツ交流係長 文化スポーツ課郷土学館業務係長

※委員は五十音順

## 第10次美瑛町社会教育中期計画策定の経過

日 付	内 容	場 所
令和2年 6月10日	第10次美瑛町社会教育中期計画について、美瑛町社会教育委員へ諮問	町民センター 大会議室
6月19日	第10次美瑛町社会教育中期計画策定に伴うアンケートの実施 対象：講座参加者、社会教育施設利用者、社会体育施設利用者、関係団体・サークル会員など 合計670名	郵送による実施
7月20日	第1回社会教育中期計画策定会議 ・第9次美瑛町社会教育中期計画期間中の事業評価 ・アンケート調査結果の報告 ・計画の方向性、骨子について検討	町民センター 大会議室
9月 9日	第2回社会教育中期計画策定会議 ・計画素案の検討	町民センター 大会議室
10月 6日	第3回社会教育中期計画策定会議（書面） ・計画案の検討	郵送による 書面会議
11月10日	第4回社会教育中期計画策定会議 ・計画案の検討	町民センター 大会議室
12月21日	第5回社会教育中期計画策定会議 ・計画案の最終確認	町民センター 大会議室
令和3年 2月 3日	第10次美瑛町社会教育中期計画について、美瑛町教育長へ答申	美瑛町役場 教育長室